

マニュアル

型式:
DTH-1152



DTH-1152について
デバイスをセットアップする
クリエイティブペントブレットの使用開始
ペンの操作
「ワコムタブレットのパーティ」でのデバイスのカスタマイズ
オンスクリーンコントロールをショートカットとして使用
アプリケーション固有の設定へのアクセス
マルチタッチ
ワコムデスクトップセンター
ディスプレイ設定のカスタマイズ
本機のお手入れ
テクニカルサポート



wacom®

目次

目次	2
DTH-1152について	5
DTH-1152の付属品	5
DTH-1152の機能	6
デバイスをセットアップする	8
作業環境を整える	9
ドライバのインストール	10
ドライバの更新	10
クリエイティブペンタブレットの使用開始	11
ユーザーヘルプへのアクセス	11
コンピュータへの接続	12
調整	13
ペンの操作	14
カラーリングを使用したペンの識別	14
特殊なペン	14
ペンの使用	15
ペン先と消しゴム	15
ペンボタン	15
ペンの保管方法	16
ペン機能のカスタマイズ	17
ペンボタンとペン先に機能を割り当てる	17
他のペンプロパティのカスタマイズ	17
ペン芯を交換する	19
替え芯の場所	19
芯抜きの場所	19
Windows Inkでのペンの使用	20
ペンと消しゴムの詳細な設定	21
「ワコムタブレットのプロパティ」でのデバイスのカスタマイズ	22
「ワコムタブレットのプロパティ」でカスタマイズできる設定	22
「ワコムタブレットのプロパティ」で設定およびその他のオプションにアクセスできる場所	22
「ワコムタブレットのプロパティ」を開く	23
「ワコムタブレットのプロパティ」での設定の割り当て	24
「ワコムタブレットのプロパティ」での設定の割り当ての例	25
どのような設定を割り当てるることができますか？	26
キーストロークの割り当て	30
マッピング画面切り替え	31
ユーザーオプションのカスタマイズ	33
オンスクリーンコントロールをショートカットとして使用	34

オンスクリーンコントロールを作成して使用する方法	34
オンスクリーンコントロールのレイアウト	34
オンスクリーンコントロールの作成	36
ラジアルメニューおよびスクリーンキーへの設定の割り当て	38
テンキーへの設定の割り当て	39
オンスクリーンコントロールの割り当て	40
アプリケーション固有の設定へのアクセス	41
アプリケーション固有の設定の割り当て	42
アプリケーションによって割り当てられる設定	44
割り当てられている設定を確認する方法を教えてください。	44
設定の割り当ては、カスタマイズ可能なコンポーネントごとに異なった動作をします。	44
アプリケーションによって割り当てられた設定のインポート	45
マルチタッチ	46
タッチオプション	47
ジェスチャーの個別設定	49
ジェスチャーの標準設定	50
ワコムデスクトップセンター	52
デバイスのカスタマイズ	52
セットアップウィザードの実行	52
ソフトウェアの入手	52
設定のバックアップ	52
タブレットの更新	53
アプリや製品の入手	53
ワコム製品のサポートを得る	53
ワコムIDでのログイン	53
ディスプレイ設定のカスタマイズ	54
オンスクリーンディスプレイボタンを使用したメニューへのアクセスと設定の変更	54
どのディスプレイ設定をカスタマイズできますか？	55
本機のお手入れ	56
テクニカルサポート	57
クリエイティブペンタブレットのテスト	58
ペンのテスト	59
「ワコムタブレットのプロパティ」で問題を診断する	59
タッチのテスト	61
用語	62
部品やオプション品の注文	64
プライバシー	65
このドキュメントについて	66
ユーザーへヘルプに関する基本事項	66
ユーザーへヘルプでのデバイスの機能	66

商標について

67



DTH-1152について

DTH-1152液晶ペンタブレットを使用すると、ドキュメントの表示、注釈、署名が簡単に行えます。ペンを使用するかタブレット面を直接タッチしてDTH-1152でドキュメントを開き、同じく本機で直接操作および署名します。

[図と機能](#)を調べ、[液晶ペンタブレットの設定方法](#)を確認してください。

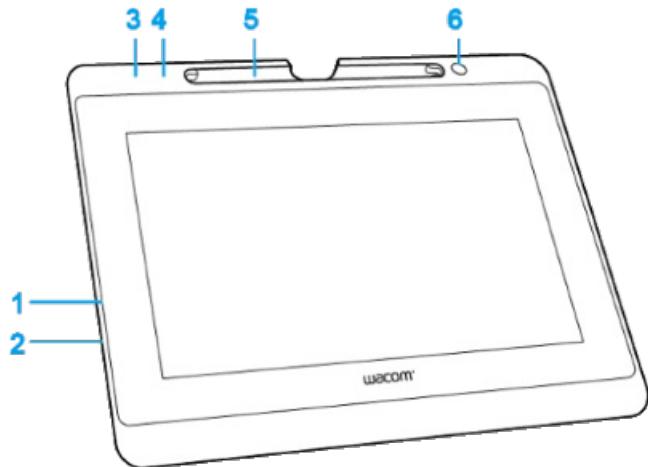
DTH-1152の付属品

DTH-1152の梱包を解く際には、必ず次の製品やアクセサリが揃っていることを確認してください。

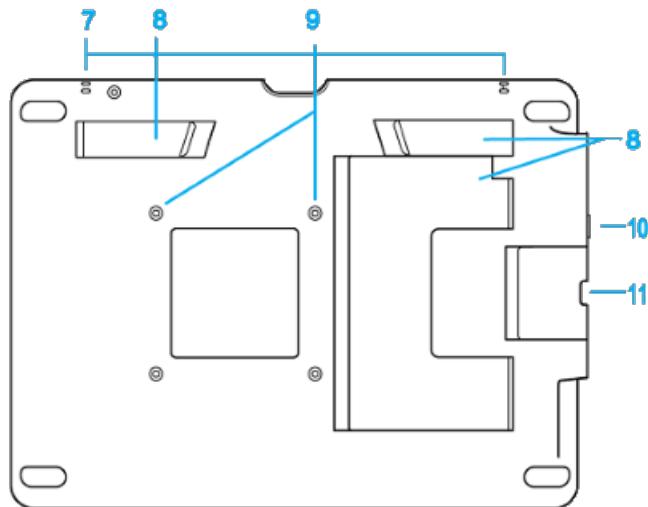
- DTH-1152液晶ペンタブレット
- ペン
- ペン紛失防止ケーブル
- 替え芯
- 芯抜き
- 専用接続ケーブル
- ACアダプタ
- 電源ケーブル
- クイックスタートガイド

安全上の注意事項、仕様、ライセンス契約、保証について記載されている「製品に関する重要なお知らせ」をお読みください。このお知らせは、お使いの製品に付属しています。

DTH-1152の機能



1	電源スイッチ
2	オンスクリーンディスプレイボタン
3	ステータスLED
4	パワーランプ
5	ペン収納ホルダー
6	ペンスタンド

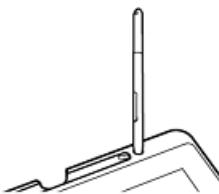


7	ペン紛失防止ケーブル取り付けスロット
8	スタンド
9	4つのVESA取り付け穴
10	セキュリティスロット
11	専用接続ケーブルのポート

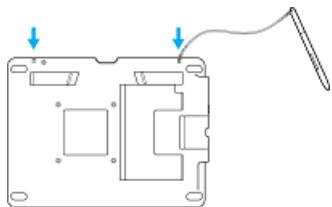
- 電源スイッチ : 液晶ペンタブレットの端にあるこのボタンを押して、電源のオン/オフを切り替えます。
- パワーランプ :
 - 液晶ペンタブレットの電源が入っていて、画像信号があるときは青色になります。
 - 液晶ペンタブレットの電源が入っていて、画像信号がないときはオレンジ色になります。
 - 液晶ペンタブレットの電源がオフのときは消灯します。
- ステータスランプ : ペン先がタブレット面に近づいたときや、ペンボタンを押したときに、ステータスランプは青く点灯します。
- オンスクリーンディスプレイボタン : 液晶ペンタブレットの端の電源ボタンの近くにあるこれらのボタンを押すと、デバイスのディスプレイ設定にアクセスして変更することができます。
- ペン収納ホルダー : ペンを使用していないときに、液晶ペンタブレットの上端にある収納部を使用してペンを収納します。



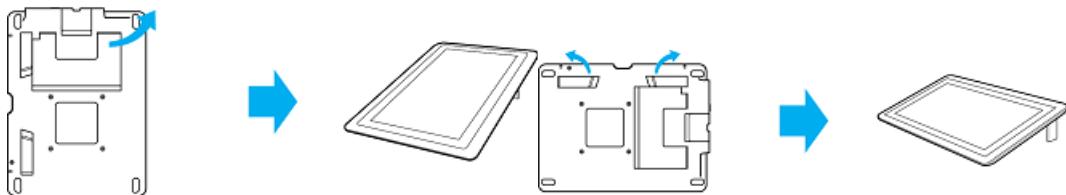
- **ペンスタンド**: 作業中にペンを安全に装着する場所として、ペンスタンドを使用します。



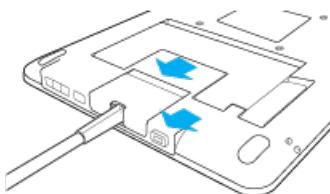
- **ペン紛失防止ケーブル取り付けスロット**: ペン紛失防止ケーブルをいずれかのスロットに挿入し、ペンをループにして液晶ペンタブレットの右側または左側に取り付けます。



- **スタンド**: 液晶ペンタブレットを縦画面または横画面で使用するように、これらの一体型スタンドを広げます。
 - コンピュータのディスプレイ設定メニューでディスプレイの向きを変えることができます。
 - アームをVESA取り付け穴に取り付けることもできます。



- **ケンジントンセキュリティスロット**: 液晶ペンタブレットの左端にあるこのスロットは、液晶ペンタブレットを特定の場所に固定するためのロックできるケーブルを取り付けるために使用できます。
- **専用接続ケーブルのポート**: 専用接続ケーブルのポートは、液晶ペンタブレットの左上隅にあります。



デバイスをセットアップする

1. まず、ユーザーへルプのこのセクションの手順に従います。付属のクイックスタートガイドには、役に立つ画像が掲載されています。
 - デバイスに付属のすべてのスタンドを取り付けます。
 - 作業環境をセットアップします。
2. デバイスをセットアップした後、このユーザーへルプの「はじめに」セクションの手順に従って、デバイスの使用を始めることができます。
 - デバイスをお使いのコンピュータに接続します。
 - ドライバをインストールします。

作業環境を整える

- ペンタブレット、ペン、キーボードを手の届きやすい場所に配置してください。
- 目に負担がかからないようにディスプレイの表示を調整し、腕の長さだけ離れた場所にディスプレイを設置してください。
- 画面のポインタがペンタブレット上の手の動きと同じ方向へ移動するようにペンタブレットを置いてください。
- ペンタブレットをクリエイティブツールとして使用する場合、キーボードの手前に配置し、ディスプレイとペンタブレットの中心が揃うように置くことをお勧めします。

「ドライバのインストール

重要: デバイスにドライバがプリインストールされている場合を除き、デバイスを適切に動作させるにはドライバをインストールする必要があります。『クイックスタートガイド』を参照して、デバイスにドライバがプリインストールされているかどうかを確認してください。

1. ワコムの[ドライバのページ](#)に移動します。
2. コンピュータのオペレーティングシステムに対応する最新のドライバの横にある「ダウンロード」をクリックします。
3. 画面の指示に従って、ドライバのインストールを完了します。

ドライバの更新

更新されたドライバは、[ワコムデスクトップセンター](#)およびワコムの[ドライバのページ](#)で定期的に入手できます。デバイスで最新の特長や機能を利用できるように、定期的に確認して更新してください。

- ワコムデスクトップセンターから、「アップデート」を選択し、該当するアップデートをクリックしてインストールします。
- ワコムデスクトップセンターがお使いのデバイスに対応していない場合は、ワコムの[ドライバのページ](#)に移動して、最新のアップデートを探します。

注意: ドライバをアンインストールすると、デバイスは機能しません。ドライバをアンインストールした場合は、[ドライバのページ](#)から最新のドライバを再インストールしてください。デバイスが再び動作するようになります。ドライバを再インストールすると、デバイスは標準設定に戻ります。

クリエイティブペントラットの使用開始

同梱の『クイックスタートガイド』には、ペントラットのセットアップに役立つ画像が掲載されています。

1. デバイスをお使いのコンピュータに接続します。
2. コンピュータにドライバソフトウェアをインストールします。

ユーザーへルプへのアクセス

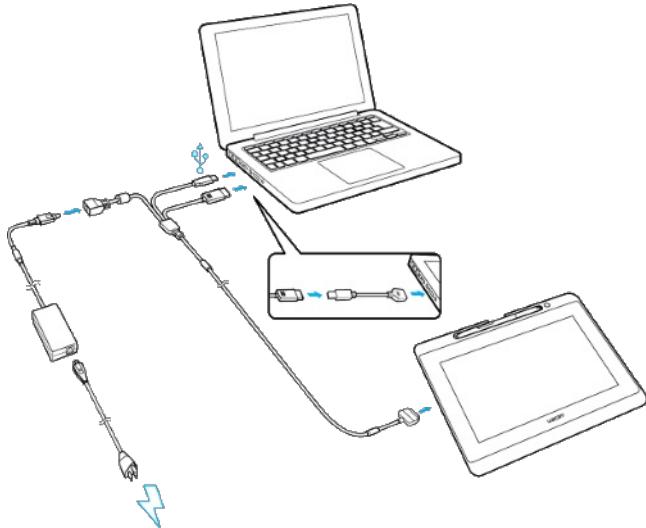
- 「ワコムタラットのプロパティ」からユーザーへルプのトピックに直接アクセスできます。?アイコンをクリックすると、現在お使いの機能に関するヘルプトピックが表示されます。
- また、ワコムデスクトップセンターの「ヘルプ」メニューからユーザーへルプを開くことができます。
- さらに、[カスタマーサポート](#)Webサイトの製品マニュアルページから、ユーザーへルプにアクセスすることもできます。

補足:

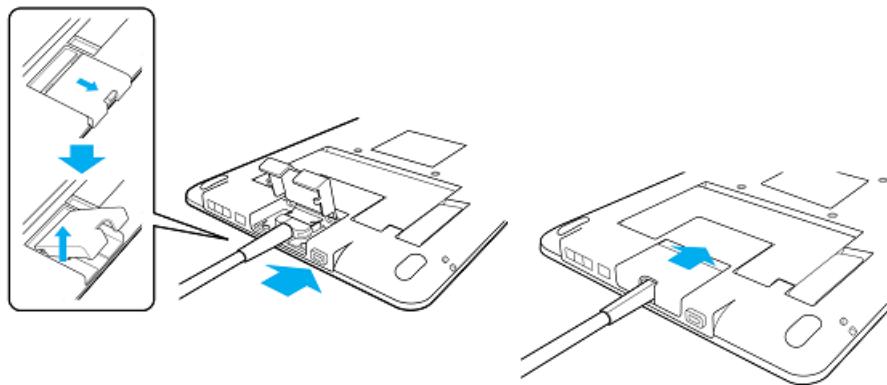
- ユーザーへルプは、WindowsとMacのコンピュータで共通です。特に注記がない限り、スクリーンショットはWindowsコンピュータのものです。
- 特定のコンピュータハードウェア、オペレーティングシステムおよびアプリケーションソフトウェアの情報は含まれていません。それぞれの製品に付属の製品情報を参照してください。

コンピュータへの接続

⚠ 警告: 液晶ペンタブレットに付属のケーブル以外は使用しないでください。その他のケーブルは本機と互換性がなく、本機が損傷する可能性があります。本機の交換用ケーブルを購入するには、[ワコムストア](#)に移動します。



- 専用接続ケーブル(3分岐)の端子を差し込むことから開始します。
 - USB端子をコンピュータに差し込みます。
 - HDMI端子をコンピュータに差し込みます。
 - コンピュータがHDMIをサポートしていない場合、HDMI-VGAアダプタを接続してからアダプタのVGA端子をコンピュータに接続します。HDMI-VGAアダプタは、[ワコムストア](#)で購入できます。
 - DINコネクタ端子をACアダプタに差し込みます。
- ACアダプタのもう一方の端を電源ケーブルに接続します。
- ACアダプタを電源コンセントに差し込みます。
- 液晶ペンタブレットで、ケーブルカバーが下にあるフックから外れるようにしっかりと引き寄せてから、カバーを持ち上げます。
- ケーブルのもう一方の端を差し込みます。カバーを下ろし、所定の位置に収まるまで、本機に向けてカバーをスライドさせます。



左側の電源ボタンを押して液晶ペンタブレットの電源を入れます。パワーランプが点灯し、ディスプレイ画面が表示されます。

調整

液晶ペンタブレットを最適な状態でお使いいただくために、ペン先の位置調整を行い、画面上のポインタとペン先の位置を合わせます。これは、視野角の補正と視差の調整のために必要です。

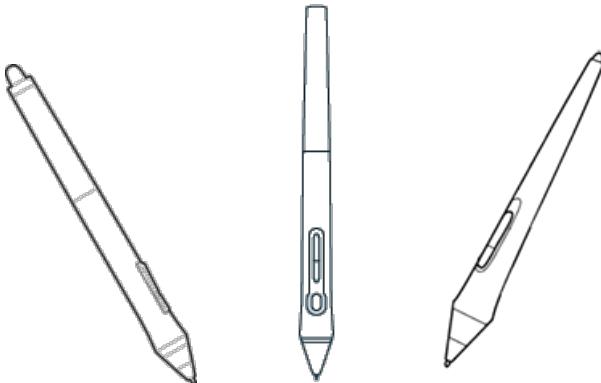
1. 液晶ペンタブレットを使用する位置に設置します。
2. 「ワコムタブレットのプロパティ」を開きます。コンピュータに複数の液晶ペンタブレットを接続している場合は、位置を調整する液晶ペンタブレットを「デバイス」リストから選択します。
3. 「入力デバイス」リストから「ペン」を選択します。
4. 「位置調整」タブを選択します。



5. 複数のディスプレイを使用している場合は、「モニタ」欄でドロップダウンメニューから液晶ペンタブレットを選択してください。
6. 「調整開始...」をクリックして位置調整画面を開きます。
7. 液晶ペンタブレットを通常使用するときの姿勢と目の位置(高さ)で、普段通りにペンを持ちます。左上に表示された十字マークの中心をペン先でクリックします。
8. 左上に続いて、画面上でその他の隅に表示される十字マークの中心をクリックします。
9. ディスプレイ上の数カ所をペンでタッチし、ポインタとペン先の位置が合っているかテストします。
10. 問題がなければ「OK」をクリックします。再度調整する場合は「再調整」をクリックします。

ペンの操作

すべてのペントブレットと液晶ペントブレットには、デバイスの操作に使用できる、コードレスで電池レスのペンが付属しています。ペンや鉛筆で通常行うように手に持ち、書いたり、描画したりすることができます。



ペンスタイルは購入したペントブレットまたは液晶ペントブレットによって異なります。

カラーリングを使用したペンの識別

ペンにカラーリングが付属している場合は、カラーリングで自分用のペンを識別できます。

1. ペンの先端を緩めて外します。
2. すでにペンに装着されているカラーリングを外し、好みのカラーリングをスライドします。
3. ペンの先端を取り付けなおします。

特殊なペン

ワコムPro Pen 3D、アートペン、エアブラシなど、高度な作業用に設計されたペンは、多くのペントブレットおよび液晶ペントブレットとともに使用できます。

ペントブレットまたは液晶ペントブレットで使用できるその他のペンと入力デバイスを確認するには、[ワコムストア](#)に移動してください。

ペンの使用

ペンを使用して、デバイスを操作します。操作には、描画、文字入力、項目の移動、ペンボタンに割り当てた設定の有効化などがあります。

ヒント:

- ペンや鉛筆を普段持つ場合と同様に、ペンを持ってください。ペンボタンを誤って押すことなく親指(推奨)または人さし指で簡単に押せるように、持ち方を調節してください。
- Adobe Photoshopなどのアプリケーションのツールにより簡単にアクセスできるようにするには、AltやCtrlなどの修飾キーをペンボタンに割り当てて、キーボードのキーを使用しなくとも済むようにします。

! 重要: [ユーザー オプション](#)をカスタマイズして、ペンとデバイスの連携方法を変更することができます。ペンボタンの両方のモードを試して、どちらがより適切に動作するかを確認します。

ペン先と消しゴム

- **描画または署名**: ペン先をデバイス面に直接付けて描画または署名します。

注意: ペンは筆圧対応であるため、強く押すと線が太くなったり色が濃くなったりします。

- **カーソルの移動**: スクリーン面をタッチせずデバイスから少し浮かせてペンを移動します。
- **ダブルクリック**: ペン先で画面の同じ場所をすばやく2回タップします。
- **消しゴム**: 鉛筆に付いている消しゴムを使用するときのように、ペンを上下反対に持ち、消去する領域上でテールスイッチ(消しゴム)を移動します。

注意: 一部のペンにはテールスイッチ(消しゴム)がありません。

- **項目の選択**: ペン先で画面を1回タップします。
- **項目の移動**: ペン先で項目を選択して、ペン先をペントラベット面でスライドさせると、項目を移動できます。

ペンボタン

[設定](#)へのショートカットとしてペンボタンを使用します。[「ワコムタブレットのプロパティ」の「ペン」タブ](#)で、割り当てられた設定を表示および変更できます。

注意: 一部のペンにはボタンが付いていません。

お使いの[ペンボタンモード](#)に応じて、個別に設定を有効にします。

- お使いの[ペンボタンモード](#)が「浮かした状態でのクリック」である場合は、ペン先をデバイス面から少し浮かせた状態に保ってボタンを押します。
- お使いの[ペンボタンモード](#)が「ペン先とともにクリック」である場合は、デバイス面にタッチしてペンボタンを押します。

ペンに細長いボタンが付いている場合、ボタンの上部と下部を押したときの設定が異なります。

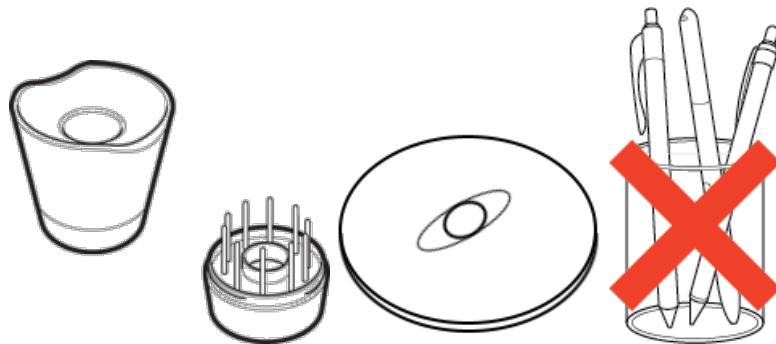
ペンの保管方法

ペンを適切に保管すると、良好な状態を維持し、ペン先を長持ちさせることができます。

!**重要**：ペン先やテールスイッチ（消しゴム）に圧力がかからないようにペンを保管してください。

- デバイスにペンスタンドが付属している場合、ペン先を下向きにしてペンをスタンドに保管します。
- デバイスにペンケースが付属している場合、ペンをペンケースに保管します。
- デバイスにケース、ホルダー、トレイが付属している場合は、それにペンを保管できます。

ヒント：ペンを使用していないときは、ペンをデバイス上に置いたままにしないでください。そうしないと、マウスを使用しているときに問題が起きたり、コンピュータがスリープ状態にならなかったりする可能性があります。



ペンスタンドは購入したペンタブレットまたは液晶ペンタブレットによって異なります。

「ペン機能のカスタマイズ」

ペンボタンに設定を割り当てたり、ペン先の感触と筆圧の設定を調整したり、ペンでの右クリック方法を設定したりすることで、ペン機能をカスタマイズします。

注意：一部のペンにはボタンまたはテールスイッチ（消しゴム）がありません。

「ペンボタンとペン先に機能を割り当てる」

1. 「ワコムタブレットのプロパティ」を開きます。

注意：「ワコムタブレットのプロパティ」で使用できるオプションは、デバイスによって異なります。

2. 「入力デバイス」行がある場合は、ペンを選択します。
3. 「ペン」タブを選択します。
4. ペンボタンごとに、ペンの横にあるドロップダウンメニューから必要な設定を選択します。
5. ペン先については、画像のペン先をダブルクリックして、ドロップダウンメニューを表示します。次に、ペンでタブレット面をタップしたときに実行するペン設定を選択します。

 **警告**：グラフィックソフトウェアで線を描くためには、ペン先が「クリック」に設定されている必要があります。



他のペンプロパティのカスタマイズ

- **ダブルクリック距離**：ダブルクリック時のペンとタブレット面の間の距離を変更するには、スライダを動かします。
- **筆圧レベル**：ペンで押す強さを確認するには、「ワコムタブレットのプロパティ」ウィンドウの何もない領域をペン先やテールスイッチ（消しゴム）で押して、「筆圧レベル」を確認します。

- ペン先または消しゴムを使用するために必要な圧力を変更する場合は、「ペン先の感触」スライダと「消しゴムの感触」スライダを動かします。
- **オプション**：ペンで右クリックする方法を選択するには、「オプション」をクリックし、いずれかのペンボタンモードを選択します。
- **傾き感度**：スライダをドラッグして、手の傾きがペンストロークに影響する度合いを変更します。ここで変更がどのようにストロークに影響するか確認するために、調整時にテストする傾きに対応するアプリケーションを開きます。
- **ペンの感触の詳細設定**：ペン先の感度を変更するには、「カスタマイズ」をクリックし、ペンと消しゴムの詳細なオプションを調整します。

ヒント：

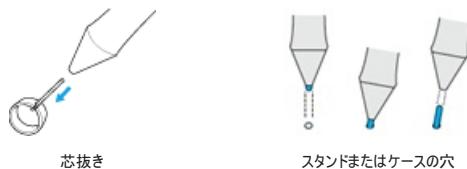
- ペン先を「クリック」に設定し、いずれかのペンボタンを「ダブルクリック」に設定します。
- 筆圧対応アプリケーションで筆圧の感度を高めるには、「ペン先の感触」を「柔らかい」にします。
- ペンを少し押しただけで過剰に反応する場合は、「ペン先の感触」で「硬い」を試してください。
- ブラシのストローク、インクのストローク、ドラッグ操作の開始が遅れる場合は、「ダブルクリック距離」を小さくしてみると、ペン先ではなくペンボタンをダブルクリックに設定してみてください。
- [「ワコムタブレットのプロパティ」](#)の「ペン」タブに移動し、「標準設定」をクリックすることで、ペンを標準設定に戻すことができます。

ペン芯を交換する

ヒント: ペン芯が約1 mm(1/25インチ)になったり先端が尖ってきたりした場合は交換してください。

1. 古いペン芯を挟み、ペンから引き出します。

デバイスの付属品によって、芯抜きを使用する場合と、スタンド、ケース、またはペンの端にある穴を使用する場合があります。



2. 替え芯の端をペンの軸にまっすぐに差し込みます。
3. 芯が止まるまでゆっくりと、しっかり差し込んでください。

替え芯の場所

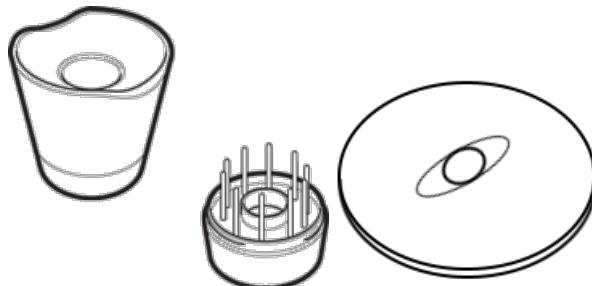
替え芯の収納場所は、デバイスによってさまざまに異なります。まず、デバイスが梱包されていた箱を確認します。ここに替え芯がない場合は、以下の場所を確認してください。

- デバイスにペンケースが付属している場合、ペンケースを確認します。
- デバイスの背面に取り外し可能な収納部がある場合は、スライドして開きます。
- デバイスにペンスタンドが付属している場合、ペンスタンドを回して外します。
 - **Pro Pen 2スタンドのヒント:** スタンドを回して元に戻すには、スタンドの底面にあるドットとくぼみを揃えるように回します。その後、カチッと音がするまで、スタンドの底面を右にゆっくり回します。

より多くの替え芯が必要な場合は、[ワコムストア](#)で購入できます。

芯抜きの場所

- 一部のデバイスでは、芯抜きはデバイスに同梱の金属の輪です。
- それ以外の場合、ペンスタンドまたはケースにある小さな穴を芯抜きとして使用してください。



ペンスタンドは購入したペントアプレットまたは液晶ペントアプレットによって異なります。

Windows Inkでのペンの使用

Windows 7、Windows XP、Windows VistaなどMicrosoft Windowsでサポートされている多種多様な機能を活用します。Windows 10およびWindows Ink Workspaceでは、さらに多くの機能がサポートされています。

- **手書き認識**：手書きの内容をテキストに変換する機能です。
- **デジタルインク機能**（Microsoft Office 2007以降）：ペンタブレットを接続し、ペンを使って手書き文字や図形などを自由に書き込むことができる機能です。
- **Windowsの入力パネル**：ワコムのペンを使って手書きするか、画面上のキーボードでテキストを直接入力します。

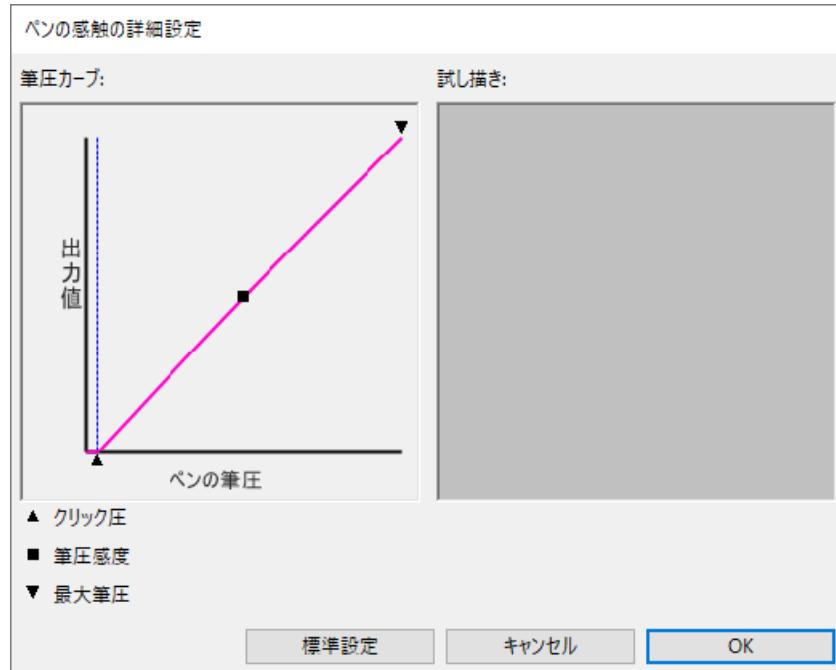
注意：ペンフリックおよび「プレスアンドホールド」機能は、グラフィックソフトによっては無効になります。

Windows Inkは標準設定でオンになっています。Windows Inkをオフにするには、「[ワコムタブレットのプロパティ](#)」で「デジタルインク機能を使う」をオフにします。

ペンと消しゴムの詳細な設定

ペン先または消しゴムの筆圧をさらにカスタマイズする場合、「ペン」または「テールスイッチ」タブを選択し、「カスタマイズ」ボタンをクリックします。「ペンの感触の詳細設定」ダイアログボックスのオプションで、ペン先または消しゴムの筆圧感度とクリックと判定される筆圧の設定を変更できます。

注意: ペンで使用可能な機能は、デバイスによって異なる場合があります。



- 「ペンの感触の詳細設定」ダイアログボックスには、選択した筆圧感度の曲線とクリック圧の設定が表示されます。筆圧の各コントロールを動かして、設定を変更します。
- 「クリック圧」は、筆圧の登録やペン先でのクリックに必要な荷重を設定します。
- 「筆圧感度」を調整し、筆圧カーブの傾きを変更します。
- 「最大筆圧」は、最大筆圧を得るために必要な荷重を設定します。
- ペン先または消しゴムを使って、「試し描き」ボックス内で何度か試し描きしてみて、テストしてみてください。
- 筆圧カーブを変更することで、ペンの感度を簡単に調整することができます。

注意: 「ペン」または「テールスイッチ」では、「詳細な設定」をカスタマイズしてから、「ペン先の感触」または「消しゴムの感触」のスライダをドラッグすると、「詳細な設定」で設定した内容が上書きされます。

「ワコムタブレットのプロパティ」でのデバイスのカスタマイズ

「ワコムタブレットのプロパティ」でデバイス、ペン、その他の入力デバイスをカスタマイズして、それらが希望どおり動作するようにできます。「ワコムタブレットのプロパティ」を開いて、[カスタマイズ可能な](#) 設定を表示します。

注意:「ワコムタブレットのプロパティ」で使用できるオプションは、デバイスによって異なります。

「ワコムタブレットのプロパティ」でカスタマイズできる設定

- ファンクションキー™、タッチホイール、リングキー、トラックパッド、ペンボタン、ペン先などのコンポーネントに機能を割り当てます。
- タッチジェスチャーで有効にする設定を選択します。
- アプリケーションに固有の設定を作成し、使用するアプリケーションに応じて切り替わる設定を割り当てます。
- スクリーンキーパネルやラジアルメニューなどのオンスクリーンコントロールを作成し、割り当てます。
- 複数のデバイスまたはモニタを使用している場合は、「マッピング画面切り替え」の際に切り替えるデバイスを定義します。
- 表示しているタブの設定を標準設定に戻します。
- ペン先でクリックを実行する方法など、高度なオプションを設定します。

「ワコムタブレットのプロパティ」で設定およびその他のオプションにアクセスできる場所

- デバイスリスト
 - このリストには、現在コンピュータに接続している各デバイスのアイコンがリストされています。新しいデバイスをこのリストに追加するには、そのデバイスをコンピュータに接続します。
 - 「デバイス」リストからデバイスを選択すると、そのデバイスの「ファンクション」および「タッチ」設定が表示されます。
 - 一部の製品では、接続されているタブレットが1つだけの場合、デバイスリストが表示されません。
- 入力デバイスリスト
 - このリストには、このデバイスで最近使用した各ツールのアイコンがリストされています。このリストに新しいツールを追加するには、デバイスでそのツールを使用します。
 - 設定を表示するツールを選択します。
 - 「ファンクション」を選択して、「デバイス」リストから選択したデバイスの設定を表示します(ファンクションキー™およびタッチホイールの設定など)。
 - 一部の製品では、ツールリストが表示されません。
- アプリケーションリスト
 - 「アプリケーション」リストから「すべて」を選択すると、すべてのアプリケーションに適用される設定が表示されます。
 - [アプリケーション特有の設定](#)を作成した場合、「アプリケーション」リストからアプリケーションのアイコンを選択し、アプリケーションに固有の設定を表示します。
- 「タブレットについて」ボタン:「タブレットについて」を選択すると、ソフトウェアのバージョン情報が表示されて、デバイスのテストに使用できる「診断」ツールにアクセスできます。
- 「?」アイコン:「?」アイコンを選択すると、現在表示している設定のユーザーヘルプトピックが表示されます。

「ワコムタブレットのプロパティ」を開く

「ワコムタブレットのプロパティ」を開くと、デバイスおよび入力デバイス用のカスタマイズ可能な設定を確認できます。

注意:「ワコムタブレットのプロパティ」に表示されるタブとオプションは、デバイスによって異なります。

「ワコムタブレットのプロパティ」を開くには、次の手順に従います。

- **WindowsおよびMacの場合**: お使いのデバイスでサポートされている場合は、ワコムデスクトップセンターから「ワコムタブレットのプロパティ」を開くことができます。「マイデバイス」の下のデバイス名をクリックして、設定のいずれかを選択します。
- Windows 10の場合: Windowsの「スタート」ボタンをクリックして「ワコムタブレット」>「ワコムタブレットのプロパティ」を選択します。
- Windows 8.1の場合: スタート画面の左下隅を右クリックします。「ワコムタブレット」>「ワコムタブレットのプロパティ」を選択します。
- **Windows 8.1のデスクトップモードの場合**: キーボードのWindowsキーを押すかチャームバーのWindowsアイコンを選択して「スタート」画面にアクセスします。画面の左下隅を右クリックします。「ワコムタブレット」>「ワコムタブレットのプロパティ」を選択します。
- **Windows 7の場合**: Windowsの「スタート」ボタンをクリックして「すべてのプログラム」を選択します。「ワコムタブレット」>「ワコムタブレットのプロパティ」を選択します。
- **Macの場合**: アップルメニューまたは「アプリケーション」フォルダから「システム環境設定」を開き、「ワコムタブレット」アイコンをクリックします。

「ワコムタブレットのプロパティ」での設定の割り当て

頻繁に使用される設定に容易にアクセスできるように、デバイスのカスタマイズ可能なコンポーネントを特定の機能を実行するように設定できます。設定を割り当てることができるカスタマイズ可能なコンポーネントとしては、ファンクションキー™、ペンボタン、ペン先、タッチホイール、リングキー、オンスクリーンコントロール、タッチジェスチャー、トラックパッドなどが挙げられます。

注意:「ワコムタブレットのプロパティ」で使用できるカスタマイズ可能なコンポーネントとオプションは、デバイスによって異なり場合があります。

1. 「ワコムタブレットのプロパティ」を開きます。

- 注意: デバイスがコンピュータに接続されていることを確認してください。そうでない場合、「ワコムタブレットのプロパティ」は開きません。



2. 「デバイス」を選択します。

- カスタマイズする設定は、オンスクリーンコントロールを除き、すべてこのデバイスにのみ適用されます。
- 一部の製品では、接続されているタブレットが1つだけの場合、デバイスリストが表示されません。

3. カスタマイズする「入力デバイス」を選択します。

- ファンクションキー™やオンスクリーンコントロールなどのカスタマイズ可能なコンポーネントに設定を割り当てる場合は、「入力デバイス」から「ファンクション」を選択します。

- ペンまたはタッチに設定を割り当てる場合は、「入力デバイス」から対応するアイコンを選択します。
 - 一部の製品では、ツールリストが表示されません。
4. 変更するコンポーネントのタブを選択します。
 5. カスタマイズするコンポーネントの横にあるドロップダウンメニューから、割り当てる**設定**を選択します。
 - 変更した内容はすぐに反映されます。
 6. カスタマイズしたコンポーネントを選択すると、割り当てた設定が実行されます。

ヒント: [特定のアプリケーションでのみ適用される](#)設定を割り当てるすることができます。

「ワコムタブレットのプロパティ」での設定の割り当ての例

ここでは、ペンボタンを「ズームイン」にカスタマイズする方法を説明します。

- 「ワコムタブレットのプロパティ」を開きます。
- 「入力デバイス」リストから「ペン」を選択します。
- 「ペン」タブを選択します。
 - ペンの画像がタブに表示されます。
 - 各ペンボタンの横にはドロップダウンメニューがあり、現在割り当てられている設定を示します。
- ペンボタンの横にあるドロップダウンから、「ズームイン」を選択します。
- ペンボタンを押すと、アプリケーションが拡大表示されます。

どのような設定を割り当てる事ができますか？

「ワコムタブレットのプロパティ」では、ファンクションキー™、タッチホイール、オンスクリーンコントロール、ペンボタン、デバイスのその他のカスタマイズ可能なコンポーネントに割り当てられた設定を変更できます。次に、ファンクションキーやペンボタンを押してコンポーネントを操作すると、そのコンポーネントに割り当てられている機能が実行されます。

すでに割り当て済みの設定を変更するかどうか、この設定リストを参照して決定してください。

注意：このリストの使用可能な機能とカスタマイズ可能なコンポーネントは、デバイスによって異なる場合があります。「ワコムタブレットのプロパティ」の「設定」タブのドロップダウンメニューで、どのオプションがお使いのデバイス固有のコンポーネントで使用できるかを確認してください。

⚠️ 警告：常にポインタの操作とクリックができるよう、少なくとも1つのカスタマイズ可能なコンポーネントにクリック設定を割り当ててください。

第4ボタンクリック または第5ボタン クリック：	第4または第5マウスボタンクリックを実行します。
アプリケーション の設定に従う	お使いのアプリケーションには、このコンポーネントの設定が割り当てられています。
オートスクロール/ ズーム	タッチホイールにこの設定を割り当てます。ほとんどのグラフィックソフトウェアではズームに、他のソフトウェアではスクロールに設定されます。 割り当てられている設定を確認するには、お使いのソフトウェアのマニュアルを参照してください。
戻る	前の手順に戻ります。ブラウザの「戻る」と同じ動きをします。
クリック	マウスボタンのクリック動作を行います。
クリックロック	マウスボタンを長押しします。 • コンポーネントを選択するとクリックロックの状態になり、もう一度選択すると解除されます。たとえば、クリックロックがペンボタンに割り当てられている場合、ペンボタンを1回押すとクリックロックの状態になり、もう一度押すと解除されます。 ヒント：クリックロックは、オブジェクトをドラッグしたり、テキストブロックを選択したりする場合に便利です。
標準設定	コンポーネントを標準設定にリセットします。
無効	ペンボタンを押すなどしてコンポーネントを選択しても何も起こらないように、コンポーネントを無効にします。
マッピング画面 切り替え	デバイスを複数のモニタまたはデバイスとともに使用している場合は、デバイスとモニタを切り替えます。
ダブルクリック	ダブルクリックを行います。 ヒント：ペンボタンなどのコンポーネントにこの設定を割り当ててペン先で2度たたく代わりに使用すると、ダブルクリック操作が簡単になります。
消しゴム	ペンを使用したストロークを描画ではなく消しゴムに設定します。 たとえば、ペンボタンに消しゴムを割り当てた場合、ペンボタンを押しながらペンでたどれば、その領域を消去できます。
進む	履歴内で1つ先の手順に移動します。ブラウザの「進む」と同様に移動します。

Ink文字認識 ON/OFF (Mac)	Ink(文字認識)機能のオンとオフを切り替えます。 • 「手書き認識」機能をオンにすると、Inkは筆跡を認識して、手書き文字をテキストに変換し、ドキュメントに挿入します。
キーストローク	割り当てたキーストロークまたはキーストロークの組み合わせを実行します。 「キーストローク」を選択すると、「キーストロークを登録」ウィンドウが表示され、 キーストロークの選択またはキーストロークの組み合わせの作成 が可能になります。
Launchpad	アプリケーションを開始できるLaunchpadメニューを表示します。
中ボタン\nクリック	マウスの中ボタンクリックを行います。
ペン↔マウスマード	この設定をペンボタンに割り当てると、ペンモードとマウスマードを切り替えることができます。 • ペンボタンを初めて「ペン↔マウスマード」に設定するときに、「マウスマード」ウィンドウが表示されます。スライダを動かして、ピントの加速と速度を調節します。 • ペンモードでは、通常のペンと同様にペンを使用できます。ペンを置いたポイントにカーソルが移動します。デバイスのどの部分がモニタのどの部分に対応するかを定義します。 • マウスマードでは、マウスと同様にペンを使用できます。ペンを使用していく離したポイントにカーソルが留まります。マウスパッドを操作する場合と同様にデバイスを操作します。
修飾キー	修飾キー(Shift、Alt、Ctrl、Option、Command)とマウスボタンのクリック操作やマウスホイールのスクロール操作を組み合わせます。 • 「修飾キー」を選択すると、「Shift、Alt、Ctrlキーの登録」ウィンドウが表示されます。 • 修飾キーを選択し、次にマウスボタンのクリック操作またはマウスホイールのスクロール操作を選択してその組み合わせを割り当てます。
オンスクリーンコントロール	選択したオンスクリーンコントロールを表示します。 • 「オンスクリーンコントロール」を選択すると、「オンスクリーンコントロール」タブにスクリーンキーパネル、ラジアルメニュー、テンキーのリストが表示されます。 • 割り当てるオンスクリーンコントロールを選択します。
オンスクリーンキーボード	Windowsオンスクリーンキーボードの表示と非表示を切り替えます。
開く/起動	選択するアプリケーション、ファイル、またはスクリプトを開くか、または起動します。 • 「開く/起動」を選択すると、「アプリケーションを起動」ウィンドウが表示されます。 • 「参照」をクリックして項目を選択します。「OK」をクリックします。
スクロール/移動	ペン先を上下または左右に動かして、ドキュメントまたは項目内を移動またはスクロールすることができます。 「スクロール/移動」を選択すると、「スクロール速度」ウィンドウが表示されます。スライダを動かして、任意のスクロール速

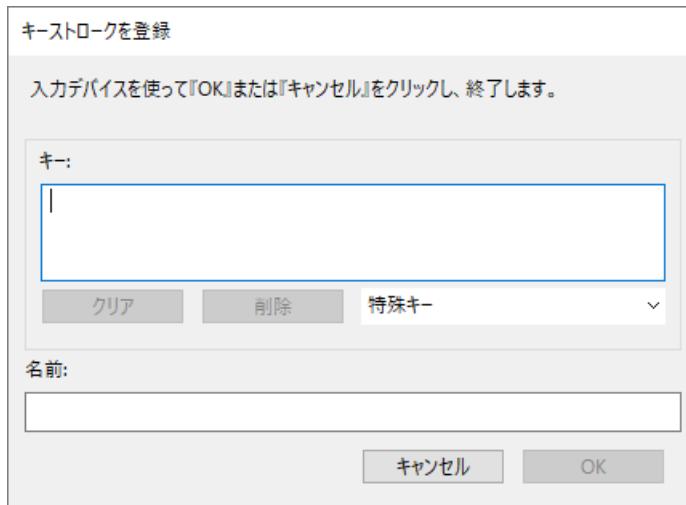
	度を設定します。
移動/ズーム	<p>デバイス面からペンを少し浮かせた状態か、タッチしているかどうかに応じて移動またはズームします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 移動するには、ペンをデバイス面の上に浮かせた(触れない)状態にして、ボタンを押したままペンを移動します。 ズームするには、ボタンを押したままの状態でデバイス面にタッチして、上方向に移動して縮小、下方向に移動して拡大します。 <ul style="list-style-type: none"> ペンを使用中に画面から浮かせると、ズーム操作は停止します。ボタンを押したままの状態でペンを浮かせた場合は、ペン先でもう一度デバイス面にタッチすると拡大/縮小できます。 ズーム操作後に再び移動する場合は、ボタンを離してからもう一度押します。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> アプリケーションで移動/ズームがサポートされていない場合は、次のようになります。 <ul style="list-style-type: none"> ボタンを押した状態でペンを浮かすと、Ctrlキー + 右クリックが有効になります。 ボタンを押した状態でデバイス面にタッチすると、マウスホイールのスクロール操作が有効になります。 「移動/ズーム」をボタンに割り当てるを選択すると、「ズーム速度」ウィンドウが表示されます。スライダを動かして、任意のズーム速度を設定します。 ペンボタンモードを変更しても、この設定が変更されることはありません。
プレシジョンモード	<p>通常モードと選択したプレシジョンモード(「精細」から「超精細」まで)を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 表示された「プレシジョンモード」ウィンドウで、スライダを動かして目的のプレシジョンモードに設定します。 たとえば、「プレシジョンモード」をペンボタンに割り当てた場合、ペンボタンを押すと、スライダで選択したプレシジョンモードで作業できるように切り替わります。もう一度ペンボタンを押すと、通常モードでの作業に戻ります。
筆圧一定	<p>コンポーネントを放すまで、筆圧を一定に保ちます。</p> <p>たとえば、この設定をペンボタンに割り当てた場合、筆の太さが希望のレベルになるまで、アプリケーションで有効にした筆圧感度で描画することができます。次に、ペンボタンを長押ししてその時点のブラシサイズをロックします。ボタンを押し続ける限りブラシサイズは変わりません。</p>
右ボタン\nクリック	マウスの右ボタンクリックを行います。
スクロール	タッチホイールを使用してスクロールします。
下へスクロール	アクティブなアプリケーションを下にスクロールします。
上へスクロール	アクティブなアプリケーションを上にスクロールします。
設定内容	<p>ファンクションキー™、タッチホイール、ペン、タッチなどのカスタマイズ可能なコンポーネントの現在の設定を表示します。</p> <p>表示された任意の項目をクリックして「ワコムタブレットのプロパティ」を開くと、必要に応じて設定の割り当てを調整できます。</p>
デスクトップ\nの表示	開いているウィンドウをすべて最小化して、デスクトップを表示します。
スキップ	この設定をタッチホイールのセンターボタンに割り当てる、タッチホイールに割り当たった設定の1つをスキップできます。

タスク\n切り替え	開いているアプリケーション間で表示を切り替えます。
タブレットPC設定	「タブレットPC設定」メニューを表示します。
タッチ ON/OFF	タッチ機能のオンとオフを切り替えます。 この設定は、タッチ機能on/offスイッチまたはボタンを内蔵しているデバイスでは使用できません。
タンブル	3Dアプリケーション内のタンブル、オービット、または回転アイテム。 アプリケーションがタンブルをサポートしていない場合は、ボタンを押すと、代わりに中ボタンクリックが有効になります。
ズーム	<p>コンピュータ上のアクティブなアプリケーションを拡大/縮小します。</p> <p>タッチホイールへの割り当て : ホイールに沿って指を時計回りにスライドさせると拡大、反時計回りにスライドさせると縮小できます。</p> <p>ペンボタンまたはファンクションキーへの割り当て : ボタンを押したままの状態でペン先をデバイス面にタッチし、上方向に移動すると縮小、下方向に移動すると拡大が行えます。ペンを使用中に画面から浮かせると、ズーム操作は停止します。ボタンを押したままの状態でペンを浮かせた場合は、ペン先でもう一度デバイス面にタッチすると拡大/縮小できます。</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> アプリケーションがズームに対応していない場合は、ボタンを押すと、代わりにマウスホイールのスクロールが有効になります。 「ズーム」を選択してこの操作に割り当てる、「ズーム速度」ウィンドウが表示されます。スライダを動かして、任意のズーム速度を設定します。 ペンボタンモードを変更しても、この設定が変更されることはありません。
ズームイン	アクティブなアプリケーションをズームインします。
ズームアウト	アクティブなアプリケーションをズームアウトします。

キーストロークの割り当て

ファンクションキー™とペンボタンなどのデバイスのカスタマイズ可能なコンポーネントにキーストロークを割り当てることができます。それによって、キーボードのキーストロークを押す代わりに、デバイスでボタンを押すと、指定された機能が実行されます。また、キーストロークの組み合わせを割り当てるとき、キーストロークの組み合わせの代わりに1つのボタンを押すだけで済みます。

1. 「ワコムタブレットのプロパティ」に移動します。
2. デバイスのカスタマイズ可能なコンポーネントのいずれかのドロップダウンメニューから「キーストローク」を選択します。「キーストロークを登録」ウィンドウが表示されます。



3. 「キー」ボックスで、割り当てるキーストロークを入力します。キーストロークの組み合わせを割り当てる場合は、組み合わせにする各キーストロークを入力します。
 - 文字、数字、ファンクションキー、修飾キーを入力できます。「特殊キー」ドロップダウンから、組み合わせを選択することもできます。
 - 「削除」をクリックすると、入力した最後のキーストロークのみが削除されます。
 - 「クリア」をクリックすると、入力したすべてのキーストロークが削除されてもう一度やり直せます。

注意: タッチホイールとマウスホイールの2つの「キー」ボックスが表示されます。1つ目のボックスにはホイールの時計回りおよび前への回転、2つ目のボックスには反時計回りおよび後ろへの回転のキーストロークを入力します。

4. キーストロークの名称を入力して「OK」をクリックします。
 - 「ワコムタブレットのプロパティ」の「オブジェクトマッピング」で、「設定」ビューにこの名称が表示されるので、割り当てたキーストロークを示す名前を入力します。
 - テンキーに数字を割り当てる場合は、キーストロークの名前を割り当てる数字にすることをお勧めします。たとえば、テンキーの1つのボタンに数字8を割り当てる場合は、そのキーストロークの名前を8とします。

ヒント: キーストロークの組み合わせは、[アプリケーションごとに同じカスタマイズ可能なコンポーネントに割り当てる](#)ことができます。

各アプリケーションにどのキーストロークの組み合わせがショートカットとして組み込まれているかについては、そのアプリケーションのマニュアルを参照してください。

マッピング画面切り替え

マルチディスプレイでお使いの場合は、「マッピング画面切り替え」オプションが利用できます。接続されているその他すべてのディスプレイ、または1つのディスプレイを使って液晶ペンタブレットで作業できます。

お使いのペンタブレットがマルチディスプレイ環境に接続されている場合、「ワコムタブレットのプロパティ」には「マッピング画面切り替え」タブが自動的に表示されます。このタブで、ディスプレイを切り替える順番を選択します。

ファンクションキーまたはペンボタンを「マッピング画面切り替え」に設定すると、デバイスボタンを押すことで、基本マッピングとその他のディスプレイマッピングを順番に切り替えることができます。次の表示オプションがあります。

- 「デスクトップ全体に切り替える」では、液晶ペンタブレットのポインタがシステムのデスクトップ全体に切り替わります。デバイスボタンをもう一度押すと、ポインタが液晶ペンタブレットへ戻ります。
- 「他のモニタに切り替える」では、液晶ペンタブレットのポインタが他のディスプレイに切り替わります。デバイスボタンを押すたびにポインタはディスプレイ間を移動し、最後に液晶ペンタブレットに戻ります。



上記のスクリーンショットは説明のために示したもので、実際の画面とは異なる場合があります。

- 「表示エリア」の設定で、画面上のペンの操作エリアのサイズを変更できます。
- 「縦横比を保持」は操作エリアのサイズを、液晶ペンタブレットと他のディスプレイを加えた全体、またはディスプレイの間で正確な縦横比率を保持できるように自動調整します。設定内容によっては、操作エリアの一部は、このオプションを選択した場合に使用できなくなる場合があります。選択をしないと、正確な縮尺比または比率は維持されません。

- 「小さな領域を使う」は、操作エリアを15.2 x 20.3 cmのサイズに制限します。もし「縦横比を保持」も合わせて選択すると、操作エリアはさらに小さくなります。選択をしないと、液晶ペントブレットの操作エリアの大部分が本機からディスプレイへのマッピングに使用されます。

重要:「マッピング画面切り替え」で特定アプリケーションに対する設定を使用している場合、「アプリケーション」リスト（「その他すべて」も含む）上のカスタマイズ済みのソフトウェアに「マッピング画面切り替え」が割り当てられたデバイスボタンかファンクションキーがあることを確認してください。

次の動作のいずれかを行うと、切り替えの順番は基本マッピングに戻ります。

- 筆圧をサポートするグラフィックソフトを起動したとき
- システムをログアウトするか、再起動したとき
- ユーザを切り替えたとき
- システムをスリープモードにしたとき
- 「マッピング画面切り替え」の設定を変更したとき
- システム上のディスプレイの解像度または数を変更したとき
- 「ペン↔マウスマード...」機能を使用したとき
- オンスクリーンコントロールから「ペンモード」または「マウスマード」を選択したとき。

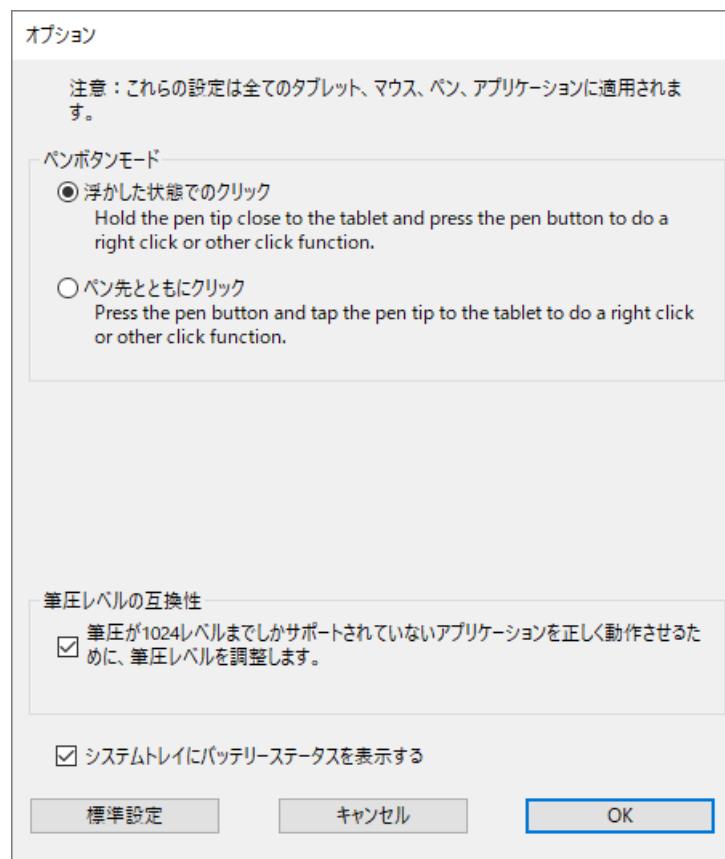
注意:「マッピング画面切り替え」機能はモバイルモードのデバイスでは使用できません。

ユーザー オプションのカスタマイズ

「ワコムタブレットのプロパティ」の「オプション」をクリックして、ペンボタンモードとデバイスのその他の設定をカスタマイズできます。

注意: デバイスによって利用できるオプションが異なる場合があります。

- 「浮かした状態でのクリック」が標準設定で、ペン先をデバイス表面から少し浮かせた状態でペンボタンを押してクリックすることができます。
- ペンボタンを押しながらペン先でデバイス表面をタップすることによりクリックを実行する場合は、「ペン先とともにクリック」を選択します。
 - 正確な位置でのクリックを求める場合は、このオプションを選択します。
- 「明るさの調整」スライダを動かして、明るさのレベルを調整したり、ステータスランプおよび操作エリアマーカー(ランプ)をオフにしたりします。
- 最大1024レベルの筆圧をサポートしているグラフィックスアプリケーションを使用している場合は、「筆圧レベルの互換性」を選択します。
- ワイヤレス操作をサポートするデバイスでは、ワイヤレス通信中にシステムトレイの充電ステータスアイコンを表示したい場合には「システムトレイに電池ステータスを表示する」を選択します。
- デバイスの左右にファンクションキーTMがあり、Mac OSコンピュータに接続されている場合は、「右手用、左手用」を切り替えてファンクションキー設定を左右逆にします。



上記のスクリーンショットは説明のために示したもので、実際の画面とは異なる場合があります。

オンスクリーンコントロールをショートカットとして使用

オンスクリーンコントロールは、タブレット画面またはモニタに表示されるメニューです。オンスクリーンコントロールを、最も頻繁に使用する設定へのショートカットとして使用できます。

オンスクリーンコントロールを作成して使用する方法

- 新しいオンスクリーンコントロールを作成します。
- 作成したラジアルメニュー、スクリーンキー、テンキーに設定を割り当てます。
- ファンクションキーやペンボタンなど、デバイスのカスタマイズ可能なコンポーネントにオンスクリーンコントロールを割り当てます。
- ボタン、ファンクションキー™、またはその他のコンポーネントを押して、オンスクリーンコントロールを開きます。
 - たとえば、オンスクリーンコントロールをファンクションキー™に割り当てている場合は、ファンクションキー™を押すとオンスクリーンコントロールが表示されます。
- オンスクリーンコントロールのボタンまたはメニュー項目をクリックして、割り当てた設定を有効にします。
 - たとえば、スクリーンキーにズームインを割り当てている場合、そのスクリーンキーをクリックすると拡大します。

ヒント: 必要になるたびにオンスクリーンコントロールを開く代わりに、「押しピン」アイコンを選択して常に開いたままにすることができます。

オンスクリーンコントロールのレイアウト



テンキー: テンキーはキー ボードのテンキーとよく似て いて、モニタに表示されま す。



スクリーンキーパネル:スクリーンキーパネルは、選択したレイアウトで表示されるボタンの行です。



ラジアルメニュー:ラジアルメニューは円形で、いくつかのメニュー項目に分かれており、各項目には独自の設定があります。

ヒント:「レンチ」アイコンを選択すると、「ワコムタブレットのプロパティ」が開きます。

オンスクリーンコントロールの作成

最初に新しいオンスクリーンコントロールを作成するか、または既存のものをコピーする必要があります。その後、[設定を割り当てる](#)ことができます。

！ 重要 : オンスクリーンコントロールはデバイス特有のものではありません。オンスクリーンコントロールは、「ワコムタブレットのプロパティ」に表示されるあらゆるデバイスのカスタマイズ可能なコンポーネントに割り当てることができます。

1. 「ワコムタブレットのプロパティ」を開きます。
2. 「入力デバイス」リストから「ファンクション」を選択します。
3. 「オンスクリーンコントロール」タブを選択します。

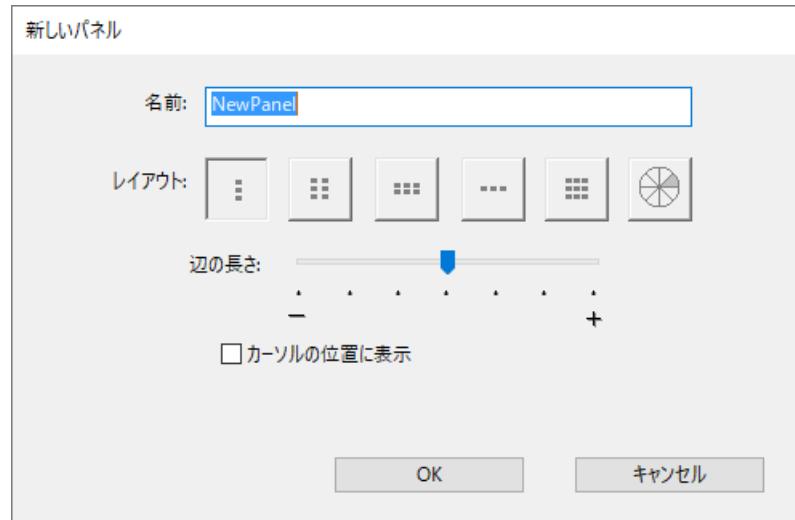


上記のスクリーンショットは説明のために示したもので、実際の画面とは異なる場合があります。

4. 新しいオンスクリーンコントロールを作成する場合は を選択し、既存のものをコピーする場合は を選択します。

注意 : 既存のオンスクリーンコントロールを選択して、 をクリックして編集、または をクリックして削除することもできます。

5. 表示されるウィンドウで名前を入力し、いずれかのレイアウトボタンをクリックしてレイアウトを選択します。



- 画面にオンスクリーンコントロールが表示されたら、「サイズ」スライダを動かしてオンスクリーンコントロールのサイズを変更することができます。
- オンスクリーンコントロールを開いたときにカーソルの横に表示されるようにする場合は、「カーソルの位置に表示」を選択します。これを選択しない場合、オンスクリーンコントロールは毎回同じ場所に表示されます。

6. 「OK」をクリックします。

- 先ほど作成したオンスクリーンコントロールが、「オンスクリーンコントロール」タブの「パネル」リストに表示されます。

7. [ラジアルメニュー、スクリーンキー、テンキー](#)に設定を割り当てます。

ヒント: オンスクリーンコントロールを作成すると、必要に応じていつでもレイアウトを切り替えることができます。

- 「パネル」リストから、変更するオンスクリーンコントロールを選択します。
- をクリックして編集します。
- 新しいレイアウトを選択し、「OK」をクリックします。

元のオンスクリーンコントロールよりも設定の少ないものに切り替えた場合でも、元の設定は失われません。たとえば、テンキーを作成後にラジアルメニューに変更した場合、最初の8つの設定がラジアルメニューに表示されます。再びテンキーに切り替えると、元のテンキー設定はすべて保持されています。

ラジアルメニューおよびスクリーンキーへの設定の割り当て

ラジアルメニューまたはスクリーンキーパネルを作成したら、ボタンおよびメニュー項目に設定を割り当てる必要があります。異なる設定が必要になった場合はいつでも設定を変更できます。

1. 「ワコムタブレットのプロパティ」の「オンスクリーンコントロール」タブで、「パネル」リストにあるオンスクリーンコントロールの名前を選択します。
 - 「キー設定」の下に、オンスクリーンコントロールの各ボタンのドロップダウンメニューが表示されます。
2. ドロップダウンメニューから、各ボタンに割り当てる設定を選択します。
 - 少なくとも1つのボタンに設定を割り当てる必要があります。使用しないボタンに関しては、「無効」を選択します。
 - 「キーストローク」を選択した場合、[キーストロークを選択またはキーストロークの組み合わせを作成](#)するよう求められます。



上記のスクリーンショットは説明のために示したもので、実際の画面とは異なる場合があります。

3. いずれかのオプション機能を変更します。
 - 設定の順番を変更するには、をクリックして新しい位置にドラッグします。
 - オンスクリーンコントロールボタンをクリックして長押ししたときに設定が繰り返されるようにするには、「繰り返し」を選択します。

⚠️ 重要: ファンクションキー、ペンボタンなど、[カスタマイズ可能なコンポーネント](#)にオンスクリーンコントロールを割り当て、開いて使用できるようにします。

テンキーへの設定の割り当て

テンキーを作成した後、ボタンに割り当てた設定を変更して、テンキーの設定を希望する内容にすることができます。

1. 「ワコムタブレットのプロパティ」の「オンスクリーンコントロール」タブで、「パネル」リストにあるテンキーの名前を選択します。
 - 「キー設定」の下に、標準設定が割り当てられたテンキーの画像が表示されます。



2. 変更するテンキーのボタンをクリックします。
3. テンキーの上の「キー設定」のドロップダウンリストから、テンキーに割り当てる設定を選択します。
 - 数字を割り当てるには、「キーボード」>「キーストローク」を選択します。「キーストローク」を選択すると、キーストロークを選択またはキーストロークの組み合わせを作成するよう求められます。
 - テンキーボタンを長押ししたときに設定が繰り返されるようにするには、「繰り返し」を選択します。
 - 少なくとも1つのボタンに設定を割り当てる必要があります。使用しないボタンに関しては、「無効」を選択します。

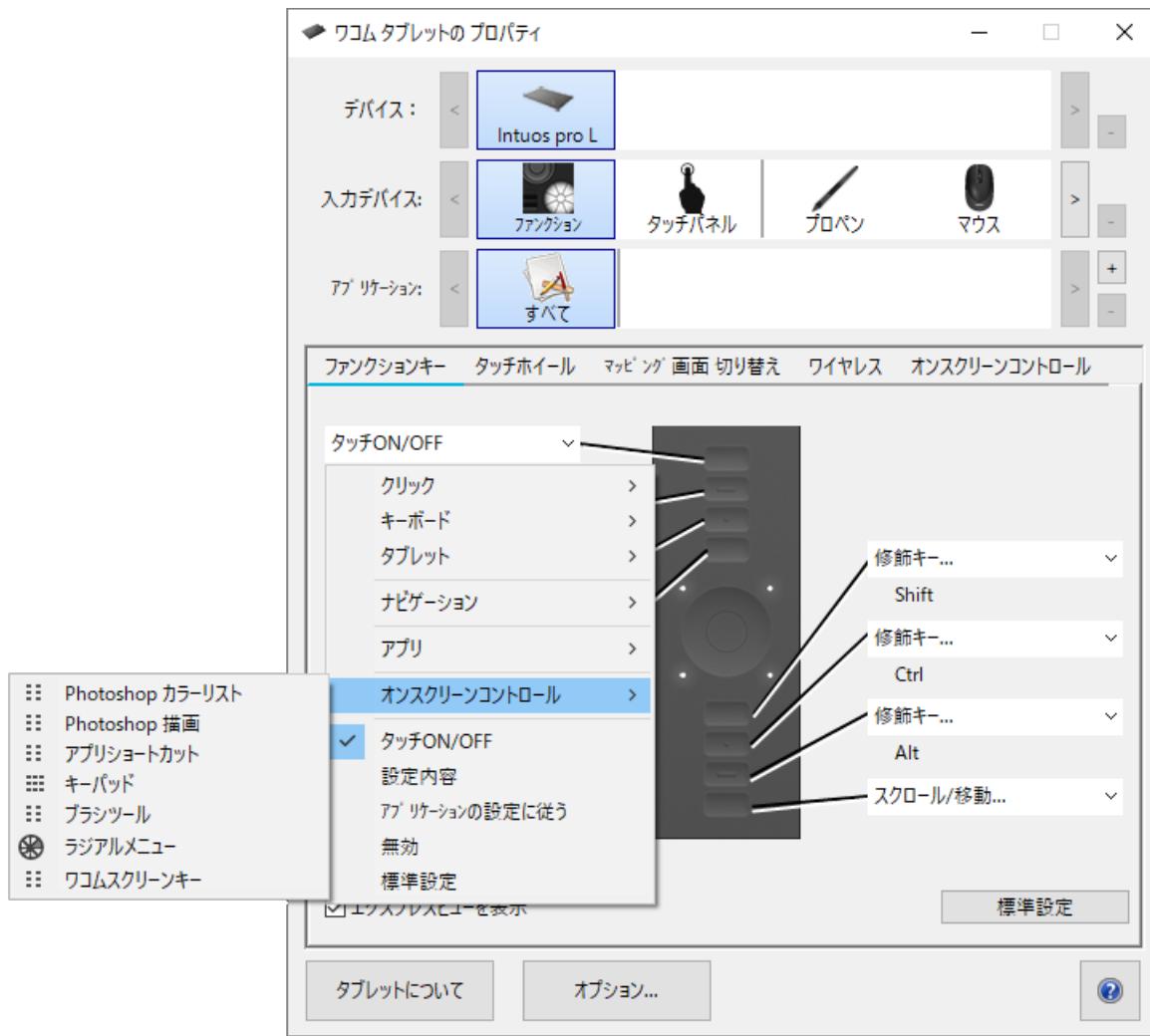
ファンクションキーやペンボタンなど、カスタマイズ可能なコンポーネントにオンスクリーンコントロールを割り当てて、開いて使用できるようにします。

オンスクリーンコントロールの割り当て

オンスクリーンコントロールを作成して設定を割り当てた後、デバイスのコンポーネントの1つにオンスクリーンコントロールを割り当て、開くことができるようになります。デバイスで使用可能な機能に応じて、オンスクリーンコントロールをファンクションキー™、タッチジェスチャー、ペンボタンに割り当てることができます。

この例では、オンスクリーンコントロールをファンクションキー™に割り当てる方法を確認できます。

- 「ワコムタブレットのプロパティ」を開き、「デバイス」で使用するデバイスを選択します。
- 「ファンクション」を選択します。
- 「ファンクションキー™」タブを選択します。
- 1つのファンクションキー™の横にあるドロップダウンメニューから、「オンスクリーンコントロール」を選択します。
- 表示されるリストから、オンスクリーンコントロールの名前を選択します。
 - 割り当てた内容はすぐに反映されます。
- ファンクションキー™を押すと、デバイスまたはモニタに選択したオンスクリーンコントロールが表示されます。オンスクリーンコントロールのいずれかのボタンをクリックして、そのボタンに割り当てる設定を有効にします。



アプリケーション固有の設定へのアクセス

カスタマイズ可能なコンポーネントに割り当てた設定は、特定のアプリケーションに対してさらにカスタマイズすることができます。これにより、アプリケーションにより迅速かつ簡単に機能を実行できます。これらのアプリケーション固有の設定にアクセスするには、複数の方法があります。

- **自分で割り当てた設定**：お使いのアプリケーションに応じて、独自の設定を割り当てることができます。
- **アプリケーションによって割り当てられた設定**：一部のアプリケーションには、カスタマイズ可能なコンポーネントに設定が割り当てられているため、そのアプリケーションを開くと、割り当てられた設定が自動的に使用されます。
- **アプリケーションによって割り当てられた設定のインポート**：設定をカスタマイズ可能なコンポーネントに割り当てるためのXMLファイルが付属しているアプリケーションもあります。ファイルをインポートし、そのアプリケーションを開くと、設定ファイルによって割り当てられた設定が自動的に使用されます。

割り当てられた設定をカスタマイズしている可能性のあるカスタマイズ可能なコンポーネントの例としては、ファンクションキー™、ペンボタン、ペン先、タッチホイール、リングキー、オンスクリーンコントロール、タッチジェスチャー、トラックパッドなどが挙げられます。

注意：使用できるカスタマイズ可能なコンポーネントは、デバイスに応じて異なる場合があります。

アプリケーション固有の設定の割り当て

「アプリケーション」リストでは、個々のソフトウェアを追加したり、特定ソフトウェア向けに入力デバイスの設定をカスタマイズできます。たとえば、特定ソフトウェアのアイコンを選択して「ペン」の設定を変更すると、変更はそのソフトウェアを使用している場合にかぎり、ペンに適用されます。特定ソフトウェアに対する設定は、すべてのワコム製ペンタブレットと液晶ペンタブレット、ExpressKey Remoteデバイスで使用できます。

- 特定のソフトウェアに対する設定を追加すると、「すべて」アイコンが「その他すべて」に変わり、新しく追加されたソフトウェアのアイコンが表示されます。
- ソフトウェアを追加した後で対象入力デバイスを「入力デバイス」リストから選択すると、追加したソフトウェアのアイコンが「アプリケーション」リストに表示されます。
- 追加したソフトウェアを選択して、次に「ワコムタブレットのプロパティ」を開いて入力デバイスとソフトウェアをカスタマイズします。



上記のスクリーンショットは説明のために示したものです。実際の画面とは異なる場合があります。

特定のソフトウェアに対する設定を作成するには：

- 「ワコムタブレットのプロパティ」で、特定のソフトウェアに対する設定を作成するデバイスおよび入力デバイスを選択します。
- 「アプリケーション」リストで「+」ボタンをクリックします。
- 「開いているアプリケーション」ボックスから、カスタマイズ設定を作成するソフトウェアを選択します。または、「参照」を選択して、コンピュータにインストールされているソフトウェアの実行ファイルを選択します。
- 「OK」をクリックします。

特定のソフトウェアに対する設定を削除するには：

1. 「入力デバイス」リストで、特定のソフトウェアに対する設定を削除したい入力デバイスを選択します。
2. 「アプリケーション」リストで、削除したいソフトウェアを選択します。
3. 「アプリケーション」リストで、「-」ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスで「削除」をクリックして、選択を確認します。選択したソフトウェアは、入力デバイスの設定とともにリストから削除されます。
4. 1つの入力デバイスから特定のソフトウェアに対する設定をすべて削除するには、「入力デバイス」リストからその入力デバイスを削除します。次に入力デバイスをペンタブレットの上に戻すと、入力デバイスは、標準設定の状態で「入力デバイス」リストに追加されます。

注意：この方法では、カスタマイズされた「ファンクション」設定は削除できません。

PhotoshopやIllustratorなどの一般的なソフトウェアで作業をする場合、ペンタブレットのタブレットドライバがソフトウェアを検出し、そのソフトウェアでよく使われている機能にファンクションキー™を設定します。

補足：

- 2つのソフトウェアの実行ファイル名が同じであれば、この2つのソフトウェアはカスタマイズされた設定を共有します。
- 特定のソフトウェア向けにファンクションキー™をカスタマイズした場合、その設定はソフトウェアによって自動で割り当てられる標準設定よりも優先されます。ファンクションキーの設定がそのソフトウェア向けにカスタマイズされていない場合のみ、標準設定が自動で有効になります。

アプリケーションによって割り当てられる設定

一部のアプリケーションでは、[カスタマイズ可能なコンポーネント](#)に設定を割り当てます。アプリケーションを開くと、そのアプリケーションが割り当てた設定を自動的に使用することになります。

割り当てられている設定を確認する方法を教えてください。

- 設定が割り当てられているアプリケーションを開くと、「ワコムタブレットのプロパティ」で割り当てられた設定を表示することができます。
 - コンポーネントの横にあるドロップダウンに「アプリケーションの設定に従う」が表示された場合、作業中のアプリケーションにその設定が割り当られているということを示しています。ただし、「アプリケーションの設定に従う」は割り当てられた設定がすべて表示されるわけではありません。代わりに機能の名前が表示されることがあります。割り当てられている設定を確認するには、そのアプリケーションのドキュメントをご覧ください。
- アプリケーションを閉じたり、他のアプリケーションで作業を開始したりすると、設定は以前の割り当てに戻ります。

ヒント: アプリケーションによって割り当てられた設定を使用する必要はありません。「ワコムタブレットのプロパティ」で[設定を変更する](#)ことができます。

設定の割り当ては、カスタマイズ可能なコンポーネントごとに異なった動作をします。

注意: 使用できるカスタマイズ可能なコンポーネントは、デバイスに応じて異なります。

- アプリケーションでは、一部のファンクションキー™に設定を割り当てることができます（すべてのファンクションキーではありません）。ファンクションキー™に設定が割り当てられているかどうかを確認するには、そのアプリケーションのドキュメントを参照してください。
- タッチホイールまたはトラックパッドの一部にアプリケーションが設定を割り当てる場合、タッチホイールまたはトラックパッドのすべての設定が変更されます。アプリケーションがタッチホイールまたはトラックパッド全体をカバーするよう設定を割り当てていない場合、未割当の設定は「スキップ」に変更されます。

アプリケーションによって割り当てられた設定のインポート

設定を[カスタマイズ可能なコンポーネント](#)に割り当てるためのXML設定ファイルが付属しているアプリケーションもあります。ファイルをインポートし、そのアプリケーションを開くと、設定ファイルによって割り当てられた設定が自動的に使用されます。

注意：設定ファイルがカスタマイズ可能なコンポーネントに設定を割り当てられていない場合、設定はインポート前の設定と同じになります。

1. [ワコムデスクトップセンター](#)で「設定のバックアップ」に移動して設定をバックアップします。
2. 設定をバックアップした後、カスタマイズした設定ファイルをダブルクリックします。
3. 表示されるウインドウの指示に従います。

「[ワコムタブレットのプロパティ](#)」を開いて、インポートした設定を表示します。

ヒント：設定ファイルによって割り当てられた設定を使用する必要はありません。「[ワコムタブレットのプロパティ](#)」で[設定を変更](#)することができます。

マルチタッチ

お使いのペントラベットのマルチタッチ機能により、ペントラベット上で指を動かすだけで、コンピュータを操作できます。

MacデバイスまたはWindowsデバイスと同様に、タッチ機能を使うことができます。タッチ機能は、ペントラベットの操作エリアに触れるといつでも有効化されます。

タッチ機能を使用する際はやりやすい範囲で指同士を離して使用できます。ただし、指が互いに近づきすぎる状態で置くと、ペントラベットはそれを1本の指からの入力と解釈したり、アクションを行った指を正しく認識しない場合があります。指は必ず操作エリア内に置いてください。

ジェスチャーを行う際は、不意にペントラベットに触れないように注意してください。たとえば、スクロールまたはズームの操作中に手のひらがペントラベットの操作エリアに触れていると、予期せずに右クリックが生じる可能性があります。

場合によっては、デバイスの物理スイッチでタッチが有効または無効になります。

ペン入力とタッチの両方に対応する一部のペントラベットモデルでは、ペン先またはテールスイッチ(消しゴム)が操作エリア内(検出範囲内)にある場合、タッチ入力ができなくなります。ペントラベットの操作エリアからペンを離すと、タッチ入力が有効になります。

タッチオプション

タッチオプションは、液晶ペンタブレットの基本的なタッチ機能を制御します。

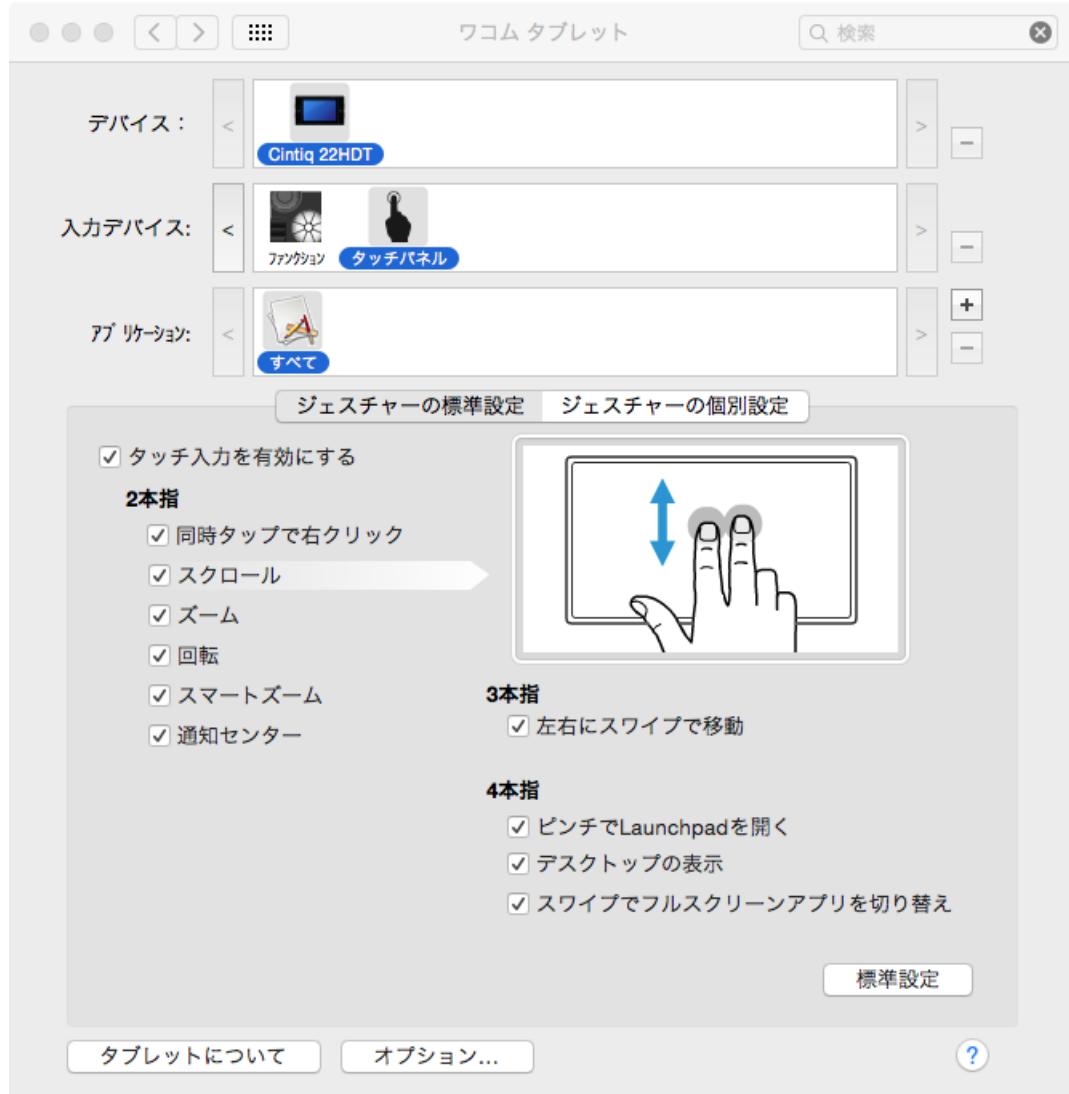


上記のスクリーンショットは説明のために示したもので、実際の画面とは異なる場合があります。

Macの場合は「ジェスチャーの標準設定」タブを選択することで本機のタッチ機能を設定できます。Windowsの場合は「タッチオプション」または「ジェスチャーの個別設定」タブを選択します。「タッチオプション」タブから、「ワコムのジェスチャーを使う」オプションを選択します。

- 「タッチ入力を有効にする」チェックボックスをクリックしてタッチ機能を有効にします。
- ジェスチャー認識機能のオプションを選択します。これは標準設定としてすべてのアプリケーションに適用されます。デフォルトは「ワコムのジェスチャーを使う」で、これはアプリケーション間で一貫したタッチエクスペリエンスを提供します。

Macの場合:



上記のスクリーンショットは説明のために示したもので、実際の画面とは異なる場合があります。

「タッチパネル」タブでは、画面のポインタをオプションに合わせると、タッチジェスチャーの画像が表示されます。特定の表示オプションを選択しなかった場合は、コントロールパネルに各オプションが上から順に表示されます。利用可能なオプションはオペレーティングシステムおよびバージョンによって異なる場合があります。

ジェスチャーの個別設定

タッチジェスチャーをカスタマイズするには、「ジェスチャーの個別設定」タブを選択します。タッチジェスチャーは選択すると利用できるようになります。ドロップダウンメニューから選択または変更することができます。

ポインタをタッチオプションのどれかに置くと、機能を説明するイラストが表示されます。特定の表示オプションを選択しなかった場合は、「ワコムタブレットのプロパティ」に各オプションが上から順に表示されます。



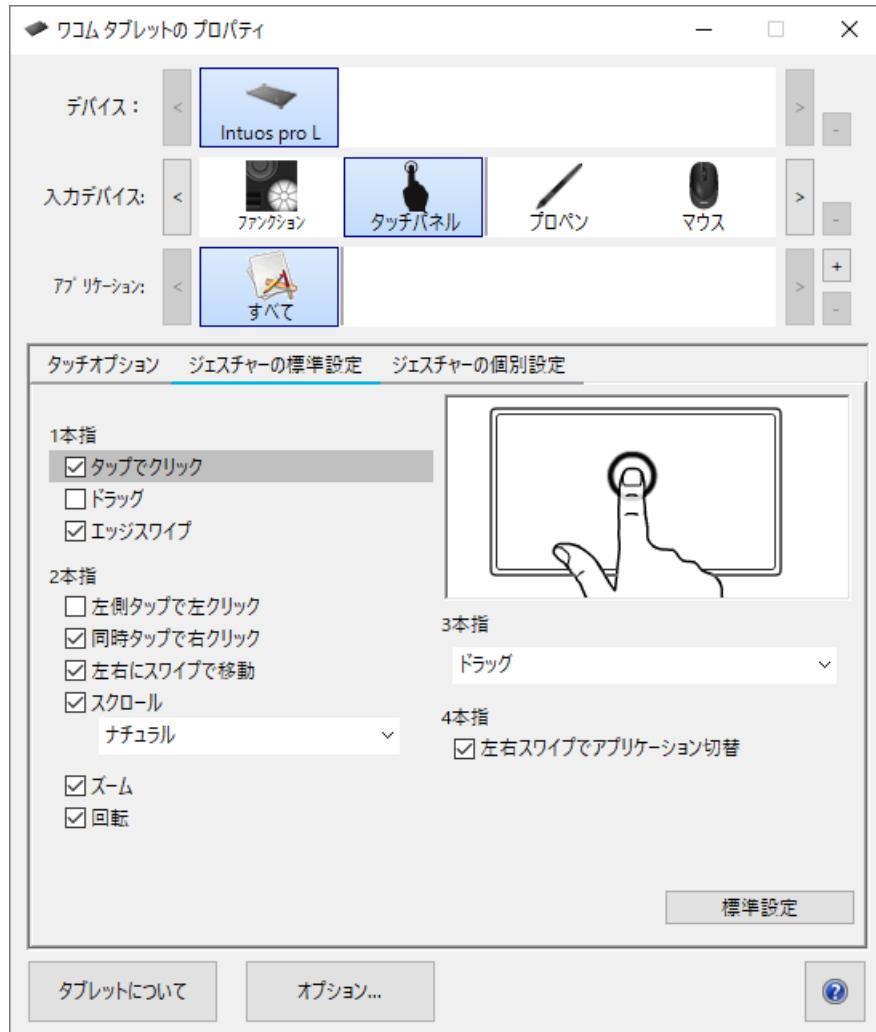
上記のスクリーンショットは説明のために示したもので、実際の画面とは異なる場合があります。

ジェスチャーの標準設定

各タッチオプションは、「ワコムタブレットのプロパティ」から有効/無効を切り替えることができます。「タッチオプション」タブの「タッチ入力を有効にする」にチェックが入っている場合、または切り替えスイッチがオンになっている場合に、タッチ入力は有効になります。

「ジェスチャーの標準設定」タブでは、既定のジェスチャーを設定できます。スクロールについては、ドロップダウンメニューから「ナチュラル」または「標準」を選択して、スクロール時の移動方向を決定します。3本指ジェスチャーについて、ドロップダウンメニューからお好みの操作を選択します。

注意: Windowsは、液晶ペンタブレット製品の「ジェスチャーの標準設定」タブに対応していません。



上記のスクリーンショットは説明のために示したもので、実際の画面とは異なる場合があります。

- 基本的な動作で、ポインタの移動や一般的なマウスの機能を実行します。
- ジェスチャーを使ってスクロール、ズーム、回転などの機能を実行します。ジェスチャーによっては、ペンタブレットにジェスチャーが認識されたことを知らせる視覚表示が、表示画面に現れます。
- 右クリックなど一部の機能は別の操作やジェスチャーでも実行することができます。
- ポインタをタッチオプションのどれかに置くと、機能を説明する画像が表示されます。

特定の表示オプションを選択しなかった場合は、「ワコムタブレットのプロパティ」に各オプションが上から順に表示されます。

その他の機能:

- タッチ入力やファンクションキー™をカスタマイズして、さらに別のタッチ機能を実行することもできます。[マルチタッチ機能の使用方法](#)をご覧ください。
- 「入力デバイス」リストから「タッチパネル」アイコンを選択し、カスタマイズしたいタブに切り替え、利用可能なオプションを選んで設定を変更します。

ワコムデスクトップセンター

ワコムデスクトップセンターでは、ドライバと製品を常に最新の状態に維持したり、デバイスをカスタマイズしたりすることができます。また、ペンタブレットと液晶ペンタブレットの使用方法を調べることもできます。



上記のスクリーンショットは説明のために示したもので、実際の画面とは異なる場合があります。

デバイスのカスタマイズ

- デバイスで利用できる場合、コンピュータのディスプレイに接続されている液晶ペンタブレットおよびペンタブレットが「マイデバイス」の下に表示されます。
- デバイスを選択して、設定メニューを表示します。
- いずれかの設定メニューを選択します。「ワコムタブレットのプロパティ」が開き、設定を変更できます。

セットアップウィザードの実行

- デバイスで利用できる場合は、「マイデバイス」からデバイスを選択し、「セットアップウィザードの実行」を選択します。画面の指示に従います。

ソフトウェアの入手

- デバイスで利用できる場合は、「マイデバイス」からデバイスを選択し、「ソフトウェアを受け取る」を選択します。登録して製品に付属のソフトウェアを入手します。

設定のバックアップ

- 「設定のバックアップ」をクリックして、デバイス設定をバックアップ、復元、リセットします。

- これらの設定はローカルで保存することも、ワコムIDに保存することもできます。

注意：設定は、その設定が作成されたデバイスにのみ復元できます。

タブレットの更新

- デバイスで利用できる場合は、「アップデート」の隣にある通知で、ドライバ、ファームウェア、またはBIOSの更新が通知されます。
- 「アップデート」を選択し、該当するアップデートをクリックしてインストールします。

アプリや製品の入手

- ワークフローを改善できるアプリを検索するには、「マーケットプレイス」をクリックします。
- ワコム製品を調査および購入するには、「ストア」をクリックします。

ワコム製品のサポートを得る

- ワコムWebサイトのFAQやチュートリアルを表示したり、サポートに問い合わせたりするには、「サポート」を選択します。
- デバイスで利用できる場合は、「マイデバイス」からデバイスを選択して、ドキュメント、チュートリアル、「製品に関する重要なお知らせ」を表示します。
- ヘルプトピックを表示するには、「詳細」>「オンラインヘルプ」または「ヘルプ」>「オンラインヘルプ」に移動します。

ワコムIDでのログイン

- ワコムIDでログインすると、Wacom Cloudにアクセスできます。
- プロフィールを表示および更新するには、名前をクリックします。

プライバシー設定を変更したり、ワコムデスクトップセンターの起動方法を設定したり、ヘルプにアクセスしたり、ソーシャルメディアでワコムを検索したりするには、「詳細」をクリックします。

ディスプレイ設定のカスタマイズ

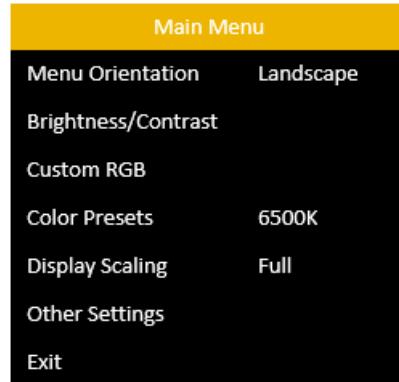
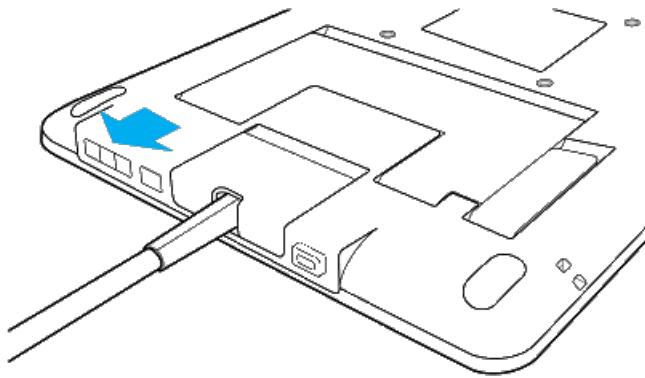
電源ボタンの横にある3つのオンスクリーンディスプレイボタンを使用して、ディスプレイ設定にアクセスしてカスタマイズすることができます。

- 選択: 電源ボタンの横にあるボタンを使用して、メニュー項目と設定を選択します。
- 上下: 中ボタンを上に移動し、もう片方のボタンを下に移動します。

⚠ 重要: 色、色温度、コントラスト、輝度、またはバックライトの設定を変更すると、液晶ペンタブレットで使用するカラープロファイル設定が上書きされます。

オンスクリーンディスプレイボタンを使用したメニューへのアクセスと設定の変更

1. オンスクリーンディスプレイボタンのいずれかを押すと、メニューが表示されます。



2. 上下ボタンを使用して、変更する設定に移動します。
3. 変更する設定が黄色で強調表示されたら、「選択」ボタンを押します。
 - メニュー項目の横に設定が表示されている場合は、上下ボタンを使ってオプションをスクロールして、「選択」ボタンを押して選択内容を確認します。
 - 新しいサブメニューが開く場合は、上下ボタンを使って変更するサブメニューの設定に移動し、「選択」ボタンを押します。次に、上下ボタンを使って設定を調整し、もう一度「選択」ボタンを押して選択内容を確認します。
4. 変更が終了したら、上下ボタンを使って「終了」に移動し、「選択」ボタンを押してメニューを閉じます。

ディスプレイ設定を標準設定に戻す場合は、「他の設定」に移動して「リセット」を選択します。

どのディスプレイ設定をカスタマイズできますか？

OSDメニューのディスプレイ設定をカスタマイズできます。いずれかのディスプレイ設定を変更するかどうか、この設定リストを参照して決定してください。

- **メニューの向き**: メニューの向きを「横」または「縦」に設定します。
- **輝度とコントラスト**: 輝度、コントラスト、バックライトの明るさを増減します。
 - コントラストを変更すると、色の精度に影響する可能性があります。
- **ユーザ設定RGB**: 赤色、緑色、青色の値を個別に調整します。
- **色のプリセット**: 色温度を5000K、6500K、または9300Kに調整するか、または「直接」を選択してビデオカードから色を直接調整なしで表示します。
 - 「直接」を選択すると、コントラストまたは輝度を調整できません。
- **表示サイズ**
 - 「全画面」: 画面全体に表示します。
 - タブレットとの関係: すべての調整値を工場出荷時の設定に戻します。
 - **1:1**: 画像を実際の解像度で表示します。
- **その他の設定**
 - **言語**: OSDメニューを表示する言語を選択します。
 - **メニューの透明度**: OSDメニューの背景の不透明度を変更します。
 - **リセット**: ディスプレイ設定を標準設定に戻します。
- **終了**: 選択すると、設定が保存されてメニューが閉じます。

注意: 最適な表示品質を得るには、ビデオカードの解像度を1920 × 1080に設定します。

本機のお手入れ

本機のパフォーマンスを最適に保つため、ここに示すお手入れのしかたのヒントに従ってください。

 **警告** : 本機またはペンに液体がかからないようにしてください。本機は液体で濡れると故障することがあります。

- 本機を拭くときは、静電気防止布または軽く湿らせた布をお使いください。

 **警告** : 本機を清掃するためにアルコールまたは洗剤は使用しないでください。

- 保管するときは、ケーブルを本機の周囲に巻き付けないでください。
- ペン芯は適宜交換し、磨耗したペン芯を使用してペントラット表面に傷がつかないようにしてください。
- 極端に高温または低温な場所は避けてください。

 **重要** : 本機またはペンを分解しないでください。本機を分解すると、保証は無効になります。

「製品に関する重要なお知らせ」で、安全上の注意事項の詳細を確認してください。お使いのデバイスでサポートされている場合は、[ワコムデスクトップセンター](#)または[カスタマーサポート](#)で確認できます。

テクニカルサポート

ペントブレットまたは液晶ペントブレットに問題が生じた場合、画面に表示されるエラーメッセージで推奨される処置を行ってください。問題が解決できない場合、次の方法を試してください。

- ・『クイックスタートガイド』を読んで、すべてのプラグおよびコネクタがしっかりと接続され、タブレットが正しく設定されていることを確認します。
- ・この問題に関する情報をユーザーへルプで確認します。
- ・[ワコムWebサイト](#)にアクセスして、製品に関するFAQ(よくある質問)を参照し、該当する問題がないか探します。
- ・[カスタマーサポート](#)に移動して、新しいドライバが利用できるかチェックして、使用可能な場合はインストールします。
- ・デバイスおよび入力デバイスをテストします。

上記の解決のポイントを試みても、問題が解決しそうにない場合は、[カスタマーサポート](#)にお問い合わせください。コンピュータの近くに、次の情報を用意してください。

- ・コンピュータの製造元と型式、およびオペレーティングシステムのバージョン。
- ・問題が発生したときにコンピュータに接続されていたデバイス。
- ・問題が発生したときに使用していたソフトウェアアプリケーションの名前とバージョン。
- ・問題が発生したとき、具体的に何が起こったか、起こったことをどのように処置したか。
- ・画面に表示された正確なエラーメッセージ。
- ・どのように問題を解決しようとしたか

クリエイティブペントタブレットのテスト

液晶ペントタブレットをコンピュータに接続し、ドライバをインストールした後、画面に何も表示されない場合は、以下の接続と要素を確認します。

1. コンピュータの電源を入れて、完全に起動するまで待ちます。
2. すべての電源ケーブルまたはアダプタが正しく接続され、LEDステータスランプが点灯しているときにことを確認します。
3. 液晶ペントタブレットがコンピュータに接続されている場合、USB接続を確認してください。
 - USB接続ケーブルが、コンピュータの利用可能なUSBポートにしっかりと接続されていることを確認します。
 - 液晶ペントタブレットのUSB接続ケーブルに損傷がないかチェックします。
 - 液晶ペントタブレットをUSBハブ(またはUSBポートを持つハブデバイス)に接続している場合は、USBハブが正しくコンピュータに接続され、動作していることを確認してください。
 - コンピュータの電源を入れて起動が完了した後に、ステータスランプが点灯しない場合は、USBポートが無効である可能性があります。液晶ペントタブレットを、利用可能なUSBポートに接続していることを確認してください。
 - 液晶ペントタブレットを別のUSBポートに接続するか、別のコンピュータのUSBポートに接続して、問題が解決されるかどうかを確認します。
 - 液晶ペントタブレットに電源が供給されない問題のトラブルシューティングで最良の結果を得るには、液晶ペントタブレットをコンピュータ上のUSBポートに直接接続します。
 - システムにより液晶ペントタブレットが認識され機能していることが確認できるまで、使用中のすべての外部ハブを一時的に取り外します。液晶ペントタブレットが正しく動作したら、通常はUSBハブに接続できます。
4. お使いの液晶ペントタブレットがタッチに対応している場合は、タッチをチェックします。ペントタブレット面で指を動かして、画面のポインタが動くことを確認します。次にタップして項目を選択します。
 - ドライバが正しく読み込まれていない場合、基本的なタッチの動作のみ認識され、他の動作やジェスチャーは認識されません。ジェスチャーが認識されない場合は、タブレットドライバを再度インストールしてください。
5. ファンクションキーTMおよびリングキーを確認します。
6. お使いになっているその他の入力デバイスを確認します。
7. これらのテストのいずれかに不合格の場合、ハードウェアの故障が考えられます。[テクニカルサポート](#)をご覧ください。
8. テスト前に液晶ペントタブレットや入力デバイスをカスタム設定で使っていた場合は、テストが終わったら[「ワコムタブレットのプロパティ」](#)で設定を元に戻してください。

ペンのテスト

ペンが適切に動作しない場合は、まずこれらの修正方法を試します。

注意: ペンで使用可能な機能は、デバイスによって異なる場合があります。

1. 「ワコムタブレットのプロパティ」で「ペン」タブに移動し、ペン先とペンボタンに割り当てられている設定が想定どおりであることを確認します。
2. 割り当てられた想定が期待どおりである場合は、コンピュータを再起動します。
3. 再起動しても問題が解決しない場合、ドライバソフトウェアを更新します。
4. ドライバを更新しても問題が解決しない場合は、問題を解決しない場合は、「ワコムデスクトップセンター」で設定をリセットします。
5. リセットしても問題が解決しない場合は、「ワコムタブレットのプロパティ」を使用して問題を診断します。

「ワコムタブレットのプロパティ」で問題を診断する

- 「ワコムタブレットのプロパティ」を開きます。
- システムに複数のデバイスを接続している場合は、ペンを使用しているデバイスを「デバイス」リストから選択します。
- 「タブレットについて」をクリックし、「診断」をクリックします。



上記のスクリーンショットは説明のために示したもので、実際の画面とは異なる場合があります。

- 「入力デバイス情報」を確認しながら、デバイス面から10 mm(0.4インチ)以内でペンを保持します。
 - 「読み取り高さ」、「入力デバイス名」、「入力デバイスのタイプ」、「シリアルNo」(シリアル番号)の後に値が表示されます。
- デバイス面に沿ってペンを移動します。
 - ペンを移動すると、「X座標」と「Y座標」の値が変わります。
- ペン先でデバイス面を押し、次にテールスイッチ(消しゴム)でデバイス面を押します。
 - 押すと、「スイッチ」と「筆圧」の値が約0%から最大圧力をかけた状態で約100%まで変化します。
- ペン先、消しゴム、各ペンボタンを一度に1つずつ押します。各ペンボタンを押すときは、ペン先をデバイス面の少し上に浮かせた状態にします。
 - それぞれを押すと、「スイッチ」の数値が次の数値と一致するように変わります。

- ペン先 = 1
- ペンボタン(***) = 3
- ペンボタン(**) = 2
- ペンボタン(*) = 2、3
- ペンのテールスイッチ(消しゴム) = 1
- エアブラシ先端 = 1
- エアブラシのペンボタン = 2
- エアブラシのテールスイッチ(消しゴム) = 1



- ペンを垂直位置から右に移動し、次に左に移動します。
 - 右に移動すると、「X方向の傾き」の値が約+60に変化します。
 - 左に移動すると、「X方向の傾き」の値が約-60に変化します。
- ペンを垂直位置からデバイスの下側に移動し、次にデバイスの上側に移動します。
 - 下側に移動すると、「Y方向の傾き」の値が約+60に変化します。
 - 上側に移動すると、「Y方向の傾き」の値が約-60に変化します。
- アートペンをテストする場合は、ペン先をデバイス面に置き、軸を中心にしてゆっくりとペンを回転させます。
 - ペンを回転させると「回転」の値が変化します。
- エアブラシをテストする場合は、ホイールを前後に移動します。
 - ホイールを完全に奥まで回すと、「ホイール」の値はおよそ0まで減少します。
 - 完全に手前まで回すと、「ホイール」の値はおよそ1000まで増加します。

タッチのテスト

重要: 基本的なタッチ機能(指の動きに従うポインタなど)は動作するが、他のタッチ機能が動作しない場合は、[ドライバを再インストール](#)します。

- デバイスの表面全体で指を移動します。ポインタが指と一緒に移動する必要があります。
- 項目をタップするか、フォルダまたはプログラムを2回タップします。項目が選択されるか、フォルダまたはプログラムが開く必要があります。
- ステータスランプ付きのデバイスの場合、デバイスの操作エリアにタッチすると、ステータスランプが明るくなることを確認します。

テストに不合格の場合はハードウェアの故障が考えられます。ワコムカスタマーサポートにお問い合わせください。

用語

特定のソフトウェアに対する設定：ソフトウェアごとに入力デバイスとペンタブレットの設定をカスタマイズします。特定のソフトウェアに対する設定は、設定したソフトウェアを使用すると必ず実行されます。

縦横比：ペンタブレット、またはディスプレイ画面の縦と横の比率。

Bluetooth：デバイス間の無線通信方式。

クリック圧：クリックするとき、ペン先にかかる力の大きさ。

デジタルインク：コンピュータへのペン入力で作成した手書きのコンテンツについての総称。この手書きのコンテンツには、画像、インクマークアップ、手書きがあります。手書きのコンテンツは、キーボード入力されたテキストに変換するか、手書きのまま使用することができます。

マッピング画面切り替え：マルチディスプレイ全体、または1つのディスプレイを使って作業できます。システムがマルチディスプレイで構成されている場合にのみお使いになれます。

ダブルクリックアシスト：ダブルクリック距離の大きさを設定することにより、ダブルクリックを簡単にする機能。

ダブルクリック距離：ペン先でダブルクリックするときに、2回目のクリックがずれてもよい距離を画面のドット数で表します。ダブルクリック距離を大きくすると、ペン先でダブルクリックしやすくなりますが、グラフィックソフトウェアによっては、線の引きはじめにピントがダブルクリック距離の外へ出るまで線が現れないことがあります。

ダブルクリック速度：ダブルクリックとして認識される、1回目と2回目のクリックの時間間隔の最大値。

消しゴム対応：消しゴム機能に対応しているソフトウェア。ソフトウェアによっては、テールスイッチ（消しゴム）を別の機能に使うことができます。

エクスパンド：タッチによる操作での動作の1つ。2本の指をくっつけた状態でペンタブレットにタッチし、次にペンタブレットに触れたまま指を開きます。

ファンクションキー™：ペンタブレットにあるカスタマイズ可能なコンポーネントボタン。

ホイール：オプションのエアブラシを操作するホイール。

修飾キー：修飾キーには、Windowsでは「Shift」、「Alt」、「Ctrl」キーが、Macでは「shift」、「control」、「command」、「option」キーがあります。デバイスボタンやファンクションキー™をカスタマイズして、修飾キーが実行されるようにすることができます。

芯：ペン先で交換が可能な部分。

ペアリング：2台のデバイス間に仮想ケーブル（Bluetooth）リンクを確立する方法。

パン：タッチによる操作での動作の1つ。指でペンタブレットにタッチし、同じ方向に動かします。

ペン入力：ペンを使ってコンピュータを操作する方法。

ピンチ：タッチによる操作での動作の1つ。2本の指を少し離した状態でペンタブレットにタッチし、次にペンタブレットに触れたまま2本の指をくっつけます。

ピクセル：画面上の最小の測定単位。

筆圧対応：ペン先およびテールスイッチ（消しゴム）はそれぞれにかかる圧力を感知できます。筆圧に対応したソフトウェアで、ペン、ブラシ、消しゴムで自然な感じのストロークを作成するのに役立ちます。

筆圧対応ソフト：筆圧機能に対応するソフトウェア。

読み取り高さ：ペンタブレットの操作エリアから対応デバイスの検知部分までの高さ。

回転：タッチによる操作での動作の1つ。2本の指を少し開いてペンタブレットにタッチし、円を描くように順方向/逆方向に回します。または1本の

指を固定して、もう一方の指を固定した指の周囲を巡るように回します。

スワイプ：タッチによる操作での動作の1つ。3本、4本、または5本の指でペンタブレットにタッチし、同じ方向に動かします。

タップ：タッチによる操作での動作の1つ。指1本（ジェスチャーの設定によっては複数の指）でペンタブレットにタッチしてから離します。

傾き感度：ペンタブレットに対する入力デバイスの傾きを読み取るペン先とテールスイッチ（消しゴム）の特性。これは、傾き対応のソフトウェアで、ペン、ブラシ、消しゴムの自然な感じのストロークを作成するのに役立ちます。

タッチ：タブレット上で、指先でコンピュータを操作する方法。タッチ入力とも呼ばれます。

タッチホイール：ペンタブレット上にある、カスタマイズ可能なリング状の装置です。

トラックパッド：Cintiq 22の背面にあるカスタマイズ可能なコントロールパッドです。

タッチセンサー：タッチ入力を検出するためのペンタブレットの操作領域。タッチセンサーは操作エリア内にあり、ペン入力は検出しません。

ドラッグ：タッチによる操作での動作の1つ。指1本でペンタブレット面にタッチし、そのまま移動させます。

Wacom リンクアダプタ USB-Cポートを搭載しないコンピュータでクリエイティブペンタブレットを機能させるためのアダプタ。

部品やオプション品の注文

デバイスの部品やオプション品を購入するには、[ワコムストア](#)に移動してください。

最寄りの代理店、販売店、または[カスタマーサポート](#)にお問い合わせいただくこともできます。

注意：一部のオプション品は、地域によっては入手できない場合があります。

プライバシー

ワコムは、お客様のプライバシーを尊重します。ワコムはユーザーへルプの品質を向上させるために、分析手法を使用して基本的なアクセス情報

を収集しています。

詳細については、当社[プライバシーポリシー](#)をご覧ください。

このドキュメントについて

このドキュメントはユーザーへルプと呼ばれます。ユーザーへルプは、タブレット、ペン、アクセサリなどのワコム製デバイスのセットアップ、機能、高度な使用を支援することを目的としています。

ユーザーへルプは、ワコム製デバイスに付属している『クイックスタートガイド』の追加リソースです。『クイックスタートガイド』には、初期設定またはインストールプロセスを最速で行うための概要が記述されており、即座にワコム製デバイスを使用することができます。

ユーザーへルプに関する基本事項

ユーザーへルプを表示すると、ワコム製デバイスの使用に関する重要な情報について、特に注意を払う必要のあるコールアウトがいくつか表示されます。ユーザーへルプには次のコールアウトがあります。

! **重要:** このコールアウトは、デバイスを最適に使用するために必要な特定の情報、またはデバイスについて知っておくべき情報を提供します。

⚠ 警告: このコールアウトは、物理的な安全性やファイルとデータの安全な管理、デバイスを確実に正しく動作させるためのベストプラクティスな手法、その他のデバイスを安全に使用するために必要な具体的な情報を提供します。

注: このコールアウトは、効率性と機能の詳細、バリエーション、制限事項などのデバイスの使用に関する全般的な情報を提供します。このコールアウトは、1つの機能がすべてのデバイスで使用可能かどうかを識別するためにも使用されます。

ヒント: このコールアウトは、ショートカットや役立つ推奨事項などのデバイスの使用方法に関する補足情報を提供します。

ユーザーへルプには、その他の役立つ情報や関連情報へのリンクもあります。リンクをクリックすると別のURLのページが表示されます。これらには、最もよく表示される別のユーザーへルプページやワコムのWebサイトもあります。

ユーザーへルプでのデバイスの機能

ユーザーへルプは、ワコム製デバイスの機能の詳細を調べることができます。機能の定義、使用例、スクリーンショット、そしてデバイスの使い勝手を最高に高めるために有効な使用方法などを知ることができます。このため、ユーザーへルプには、特定のデバイスで使用できない機能が含まれていることがあります。ワコムでは、デバイス機能が言及されているが、すべてのデバイスには対応していないインスタンスについて注記を付加するように努めています。

商標について

Copyright © 2018 Wacom Co., Ltd.

All rights reserved. Wacom、Intuos、Cintiqおよびそれらのロゴは、株式会社ワコムの商標または登録商標です。

明確な個人使用の場合を除き、この情報のいかなる部分も複製できません。

ワコムは、最新の正確な情報を提供するようにできる限り努力をしています。タブレットドライバを含む本製品の仕様は、将来予告なしに変更することがあります。

IllustratorおよびPhotoshopは、アドビシステムズ社の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。Microsoft および Windows は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。Apple、Appleロゴ、Macは、米国およびその他の国で登録されたアップル社の登録商標です。ExpressKeyは、Ginsan Industries, Inc.の商標であり、許可を得て使用しています。

多くのワコム製デバイスには、High Definition Multimedia Interface (HDMI) テクノロジーが組み込まれています。HDMI、HDMIロゴ、および High Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

その他の会社名、および製品名はすべて、一般に各社の商標、または登録商標です。サードパーティ製品の言及は、情報の提供のみを目的としており、推薦や推奨の性質を持つものではありません。ワコムは、これらの製品の性能または使用に関して一切の責任を負いません。